京城日報

八月十五日夕刊(朝夕併せて八頁)

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

總督訓示 時局に鑑み十五日

長谷川總督は時局に鑑み十五日本府及び所屬官署職員に對し左の如き訓示を爲したり

官吏は常に其の本分を守り品位を保ち質實勤儉以て世の儀表たるべきことは既に屢々訓示せる所なり近時時局の影響に因り物價益々昂騰し一般生活の狀態亦前日の比にあらず是を以て曩に朝鮮人下級職員に對し臨時俸給を行ひ又判任官以下に對し臨時手當を支給し之を拯濟するの方法を講ぜりと雖も苟くも時風を追ひ驕侈の風に染むが如きことあらむか或は分に應ぜざる負債を爲し或は賴母子講等に賴り一時を彌縫し甚しきに至りては苞苴請託を容れ遂に一身を誤り官職の威嚴を失墜するに至るを免れず又官吏の出張に際し無用の饗宴を設くるが如きは一切之を廢止するを要す今や時局益々紛糾し政務漸く多事ならむとす各員深く戒愼し勤儉の美風を作興し荒怠の弊習を除戒し一意奉公の誠を竭さんことを期すべし

滿洲軍移動 露支國境の情勢に鑑み

外務省公表=最近滿洲に接近する露領地方にて武裝せる獨墺俘虜過激派の指揮權を得支那邊境を壓し事態急を告げ日支兩國民避難の已なきに至りたるが這は支那領土の脅威たるのみならず實に支那と境域を共にする日本も等しく不安を感ずるに至れり日支兩政府は此の情勢に鑑み應急處置として滿洲守備軍の一部を移動するに決せるが以上軍隊移動は兩國步調を齊うし國難に備ふる意に出たるものなれば支那の主權地方人の權利は嚴に重じ少しも侵さゝることなし

(十三日午後六時半東京發至急電報)

本電報は署信早々號外を發行して讀者に頒布せんとしつゝある際其の筋より頒布禁止の命に接したるを以て已むなく頒布を中止せしが本朝解禁命令下りたるを以て玆に揭載す

芬王國建設可決

芬蘭議會は芬蘭王國建設案を可決し來る九月國王の册立を見るべし(倫敦電報)

チ軍莫斯科に迫る 新任駐露獨大使急遽歸國

北露方面のチ軍は既に莫斯科に迫り勞農政府は狼狽を極め居れり一方新任獨逸大使ヘルフエリッヒは赴任後十日にして急遽伯林に引返へし又墺國大使も露國赴任を見合せ居れりと(倫敦電報)

レニン、トロツキー逃亡說

コーペンハーゲンよりの電報に據ればレニン及びトロツキーはクロンスタット(ペトログラード西方の軍港)に逃亡せりとの說あり(倫敦電報)

獨軍ペ市進軍

コーペンハーゲン來電=ポリチケンス紙(丁抹首都コーペンハーゲンにある大新聞)在ヘルシングフオルス(芬蘭の首府)通信員の報道に據れば獨逸軍は今やペトログラード占領の目的にて同地に向け進軍しつゝあり(合同通信香港電報)

佛軍前進敵退却

佛軍はラシニーを距る二粁の地點に進み敵は遠からずペロンヌ、ネール、ノアイヨンの線に退却すべく敵の豫備兵數は二十師團を超えずと信ぜらる(倫敦電報)

獨防禦陣地撤退

獨軍は佛軍の壓迫に堪へずリベークルの防禦陣地を撤退せり(倫敦電報)

俘虜四萬を得

最近聯合軍の得たる俘虜は四萬に達せり(倫敦電報)

馮總統辭職通電

馮總統は十二日各省に對し辭職を通電せり(北京特電)

內相御禮言上

水野內相は十四日朝上野發日光御用邸に伺候し窮民救濟御下賜金に對する御禮を言上し尙各地騷擾の狀況を伏奏せり(東京特電)

米問題と閣議

十四日の定例閣議は前日に引續き米價問題を議し更に二三項目の決定を見同十時半散會せり(東京特電)

內務部長會議

十四日閣議の結果十六日より全國內務部長會議を開き米買收に關する協議を爲すべし(東京特電)

大谷大將 一行動靜

大谷大將一行は十三日朝桃山參拜午前十時京都發午後十時廣島著の豫定なり(大阪特電)

奈良原男薨去

貴族院勅選議員錦鷄間祗候奈良原男は十三日午前三時薨去せり危篤の趣き 天聽に達するや特旨を以て從二位に敍せらる(東京特電)

生牛浦鹽輸出

十四日夜浦鹽港行き越後丸にて淸津より生牛四十頭を輸出せるが今後續々輸出されんと觀測さる(淸津特電)

釜山米價下落

十四日の穀物市場は兩三日立拔の下落相場に三十圓割には幾分買註文あり手堅く賣物なく三十一圓內外の取引あり白米は前日と變らず三十九錢四十錢の小賣値を保てるも目下廉賣の三十五錢賣に大打擊を蒙り居れば小賣業者も近々三十五六錢迄引下るならん(釜山電報)

東京だより 米價暴騰對策

八月十一日後六時 東京支局にて 白 鐵

▼米價遂に五十圓を突破し、未曾有の記錄を示せる昨夜、大阪、京都、富山、和歌山、岡山、愛知等の老幼婦女所在に暴動し、窮迫、悽慘たるものあり、米價調節に對する當局施設の効果漸く擧がらんとして此事あり、遺憾殊に深し。

▼米價の變動は從來それ自身に於て週期的の高低を現すは例年の事にして、端境期に近づきて昂騰し新市出廻期に及んで低落し必ずしも他物價の變動と併行せず、蓋し商品としての米はその生產に於て從來、他の商品の企及し能はざる低廉なる勞力を使用することを得、自から他物價と離れて獨自の價格を維持し得たるの觀あり、然るに近時、都鄙商工業の勃興は農村の勞力を盛んに吸收し去り、農村勞力の缺乏は自から其勞力の騰貴を來し、從つて米の生產費の增加を齎し、米價の騰貴となり、米が其の商品としての價格の變動が漸く他の物價の變動と併行するの要素を備へ來りたる觀あるを見る斯の如くして、物價の昂騰に伴なうてまた米價の騰貴あり、加ふるに端境期に際し、遂に此の暴騰を現出し來る。

▼之より先き、政府は極力米價の調節に就きて劃策するところあり、既に外米百七十五萬石を輸入し、更に九月迄に百廿五萬石を輸入すべく、加ふるにまた最近朝鮮米十二萬石を移入して端境期までの供給不足に備へ、現在全國の在米は優に全國民四箇月の食を支ふるに足り在米不足より來る米價騰貴の素因を拂拭し去れる如し。但從來の需米配求の不均衡より來る不自然なる價格を現出せるものに對しては急に調節の道を講ずべく交通機關の機能を發揮せしむるに最近一段の努力を致すところあるべく、要するに秋風一陣、新市出廻りの曙と共に米價は漸次緩和するを期待し得べし。

▼但し、本秋の收穫が頗る豐作にして爲めに格段なる米價の下落を來すべきを豫想するものありと雖も現在農民並に手持筋の心理より見て果して然るやは頗る疑念なき能はず、若し夫かくの如くして買占めをなすの徒に對する處分が猶市場の病弊を斷ち難しとせば、政府は進んで米消費量の制限、公定價格の設定等更に徹底したる施措を爲し、廣く食糧の調節に就きて斷乎たる處置に出づるの期あるべきを信ず。

▼唯、軍國多事の秋、婦女餓ゑを叫んで白晝劍戟を見るが如きは頗る遺憾に堪へずと雖も、彼の暴富の徒、頻りに奢侈を衒ひ、橫恣底止するを知らざるものに對して個々一服の淸涼劑たり、また國民をして深く時局に省察戒心するの一助たるあらしめば以て必ずしも痛む可しとせざる可し。

戰後の獨逸 原料の獲得難

今日戰爭の爲め極度の疲弊に陷れる獨逸が戰後其創痍より癒えて更に經濟的大發展を世界に遂げんが爲苦心慘憺百方努力し居れる所也

▲海上の通商 は殊に國民生活上缺く可からざる原料品を如何にして何れの地に求めんとするかの問題に至りては獨逸上下の解決を要すべき大難件たり現在世界の主要原料生產地が殆ど聯合國側の手にありて其供給を得ると否とは將來獨逸の運命を決すべき主たる要因の一として數へらるされば獨逸は來るべき講和に際して必ずや『海上の自由』『原料品供給の確保』を極力主張し以て戰後自由なる發展を遂ぐる保障を得るに努むべきは明かにして這は從來講和風の吹ける度每に獨逸が講和條件中に右の題目を揭げ來り其意を表明するを怠らざりし所以なるが之に對して聯合國は巴里經濟會議の決議を高唱して中々獨逸の意のある所を容認せず

▲流石の獨逸 も之には聊か弱り氣味の態なり現に先頃漢堡亞米利加汽船會社社長バリンを利用し和蘭を通じて右の如き條件を含む講和の探りをなせる事あり其後も不斷の注意を拂ひ敵國との通商問題に關し苦慮を費やし居れりと云ふが最近開かれたる獨墺經濟會議も亦獨逸が戰後に對する經濟政策の一端を示すものに外ならず而して該經濟會議は獨墺同盟改訂の一部をなすものにして其の目的は兩國間の經濟關係を更に密接ならしめんとするにあり即ち會議は七月五日ザルツブルクに開催せられ獨墺首相の外委員として獨逸通商局長クルネル、ゲラッの諸氏出席、大綱領を議決せん方針なりしも異論百出何等決する所なかりしも關稅問題に對する

▲兩國の主張 は之によつて稍明瞭となるに至れり尤も此會議に於ては關稅率及び關稅に關する法制を豫備的に研究したるに止まれど墺國は保護政策を支持する關係上關稅の維持を主張し獨逸は反對に之が撤廢を主張し到底歸著點を見出すべくもあらず斯くて不得要領の裡に散會したりと云ふが兩國一致點に達する迄には向後幾多の曲折を見るべしと

內鮮米價の前途 主眼は政府の强制買上價格

—某有力者談—

米價昂騰の救濟として御內帑金三百萬圓政府より一千萬圓を支出する事となりし旨は既報の如きがその影響に付某有力者は曰く

▲最近の米價 は既に云ひ盡されし如く需給關係より來れる價格に非ず全く人爲相場人氣相場に付今回の如く政府が徹底的に外米の輸入廉賣を普及せしめ更に貯穀者の貯米を强制買收する事とならばその聲のみにて人氣相場の崩壞する事は當然と云ふべく兩三日來內鮮並に米穀市價の下落しつゝあるはその實證と云ふべし唯如何なる程度に於て政府が外米の輸入を增大し又如何なる價格によつて政府が民間の貯米を買ひ上げんとするかは未だ政府にて發表せず從つて其影響を知り難きも政府の

▲强制買收 價格の決定は蓋し今後の米價を定むるに重大の關係ありと云ひ得べく之一種の米價公定なりと云ふも差支へなきに似たり思ふに政府は正米石三十圓乃至三十二三圓を以て標準相場とするものに非ざるか少くも白米三十五圓以上を稱ふる事は不適當なりとの斷案を下さずやと思はる更にその朝鮮米の受くべき影響如何と云ふに鮮內には食ひ繫ぎ米は十分あり更に麥の收穫終り今後粟大豆等の代用食料品頻出しつゝあるに付內地米價の激落は必然鮮米の價格を下落せしむべき事は疑ひを要せず

▲朝鮮白米 三十二三圓は必ずしも遠きを待たずして來らん尙ほ內地の强制買上價格決定せば持米筋は恐らく一齊に賣り出すべしと豫想せらるゝに付きその相場の崩落は一段激烈なるやも知るべからず

京城東京線增設 我が大陸對策上國家的に必要

總督府遞信局にては通信の現況に鑑み一回線に過ぎざる京城東京間の電信線を二回線たらしむべく頻りに通信課にて調査を進めつゝあるが右終了次第遞信省と交渉を開始し多分大正八年度豫算に計上し出來得る限り速急に架設さるゝ模樣なり而してその遞信省と遞信局との東京京城線架設分擔は多分遞信省にて東京下關間の陸上線並に下關釜山間の海底線を完成し遞信局は釜山京城間の陸線を受け持つべきがその總經費は材料暴騰の際なれど遞信省約八十萬圓內外遞信局八萬圓內外に付費目より見れば巨額とならず遞信省にても恐らく異議なかるべしとの事なり

▼遞信當局の談 右に付遞信當局は曰く近來の電信大遲延は技術員の不足長文電報の增加通數の激增等種々あれど要するに回線の不足は最も主要の關係あり殊に京城東京線は帝國の浦鹽出兵並にその展開の如何により通信上の使命甚だ

▲重大を加へ 來りたる觀あり何となれば浦鹽方面並にハルビン方面と東京とを往復する電報は全部京城經由となるを以てなり加ふるに滿鮮各地と內地との電信は財界の發展その他のため今後一層增進すべく益々輻輳の一方なるに時局關係の突發せるあり電信の遲延は今後甚だしきものあるべしと豫想せらるゝに付目下當局に於て東京京城線の一線の增設調査を進め居れるが

▲遞信省 にても吾が大陸對策上該線の新設は國家的の見地より見てその必要を唱へ居り到底內鮮間の通信繁忙施設等と同日を以て談ずべからざるに付り大正八年度に於て架設する事となるべく出來得べくんばそれ以前に完成したき位なり尙兩三年以內に大阪京城線並に下關京城をも各一線を增架するの必要ありと信ぜらる

水難救護令改正

朝鮮水難救護令施行規則中改正府令及び朝鮮水難救護令取扱ひ手續中改正訓令は孰れも十六日附き官報を以て發布即日施行せらるべし

共進會取締規程

今秋開催の北道第二回物產共進會開催に就き鈴木咸北道長官は十五日附官報を以て之が會場取締規程を發布せり

養成所開所式

仁川有力者に於て計劃されし私立海員養成所にては十五日午後二時より開所式を舉行したり

東市議員動靜

東京市會議員視察團一行は十四日夜入京十五日午前總督府を訪問せるが一行は十五日京城滯在各方面を視察し十六日仁川に赴き即日歸京十七日午前九時五十分發平壤へ向ふ可しと

米强制買收方法 近く緊急勅令公布されん

今回の內地米强制買收は米貯藏者の必要定量を除外せる剩餘米に對し若し普通の賣米勸誘に應ぜざる時に限り强制的に買收せんとするものにて其價格は各府縣の標準相場に據り適當に價格を決定して買收せんとするものにて右は緊急勅令を以て公布さるべしと(東京特電)

鮮米買占說無根 片山外米管理部長談

政府が更に朝鮮米を買占む可しとの說朝鮮に流布されつゝあるに對しては農商務省片山外米管理部長は語つて曰く『今後鮮米を買付くる事は絕對に無き事を言明す目下朝鮮には移出し得べき米三十萬石餘りあり今之れを買付くるも右の米が內地に着するは早くも九月にて其時は既に內地新米出廻れるを以て絕對に其の必要無し』と(東京特電)

◎井戶川少將出發 入京中なりし新任平壤第三十九旅團長井戶川辰三少將は十五日午前十時龍山驛發赴任せり

◎岡本池內兩少將 騎兵第二旅團長に新補せる岡本少將並に池內少將は十五日午後七時五十八分龍山驛發任地に向ふ可し

◎河田博士入京 京都大學教授法學博士河田嗣郞氏は既報の如く鮮滿財界調査のため南鮮各地を視察の上十四日夜入京せるが數日滯在の上滿洲に向ふべしと

◎長官課長下仁 遞信局長官持地六三郞海事課長伊藤定弘並に朝鮮郵船專務松崎時勉の三氏は十五日午後零時南大門驛發列車にて下仁し海員養成所開所式に臨み即日歸京せり

◎嘉納副總裁東上 嘉納鮮銀副總裁は十六日午前八時四十分南大門驛發列車にて株主總會列席のため東上する由

◎赤澤大尉釜山通過 赤澤憲兵大尉は十五日朝釜山を通過北行したり(釜山特電)

◎デストマの講演 來る二十二日京城中學校に於ては生徒召集例會に於て廿日午前八時より小林除學部士のデストマに就ての講演ある由

◎鮮銀副總裁舍宅 嘉納鮮銀副總裁は目下朝鮮ホテルに滯留中なるが今回東上歸鮮後は前東拓總裁舍宅たる中村精七郞氏所有の家屋を借入るゝ事となりたり

將赴京城口占五首語無次序唯言志耳

玄洞 早田 元道

出門一笑尙栖々。雲海茫々西更西。雨露只今中外徧。便如物論亦應齊。

刼後閑兆誰可稱。三韓遺蹟久凄迷。扶桑原是同根耳。待我行然照水犀。

梁園宿客久追隨。愧我文章非少時。相思別後應頭白。何處江山是舊知。

風流韻事有因緣。詞賦旗亭過十年。明發關山千里外。迢遙魂夢遶西川。

別語無多別恨長。小樓微雨易昏黃。征衫明日辭龍路。行到漢陽重斷腸。

人事消息

▲伊森賢三氏(專賣局開城出張所技師) 十五日收穫檢查の爲め瑞興開城長湍の各郡管內へ出張を命ぜらる

▲岡田代議士 十五日夜歸京の筈

▲近藤日活社長 十五日午後九時十分入京の豫定

▲大垣丈夫氏(京城通信社長) 十四日夜慶南より歸京

茶前酒後

◆京城にも、救濟會の設立あり、洵に結構千萬也。此の機關に依て汎く救濟を得ば、遺憾なからん。一口に救濟と云へど、却々骨の折れる仕事也。宜しく公平に、其の本分を盡すに、注意せざるべからず。

◆救濟の機關既に出來たる以上は之を遺憾なく働かすべきは、世の仁人義士の一片の俠骨に俟つ處大ならざるべからず。冀くば富豪の人よ、餘裕を存ずるの士よ、諸君は振つて、此の事業の、有力なる後援者たらん事を。

◆見よ、內地に於て、其筋より數度の警告に接せしも、依然として懲りずまに、米の買占を行ひ、世上より惡鬼の如く嫌はれ、魔王の如く叱咤され、衆怨の府を作り、遂に檢事局より起訴、一審に於て有罪の判決を受け、更に上控せし增貴の如きも、心中大に悔ゆる處ありしか、這般金一萬圓を、救濟資金として、東京府に寄附方、申出たるに非ずや。冷血強慾尙彼の如くにして、而も此の義俠的行爲を敢てす。內鮮の紳士、豪商、富家の士よ、吾人は既に諸君の胸中熟然たる同情の溢るゝを察す、幸に其の所思を速に斷行せよ。

◆非常の時に處しては、敏速なる行動を尊ぶ。救濟會の如きも、速に其の實行着手が肝要也。一日延期すれば、一日丈けの遺憾を殘すべし。吾人は其の實行の速ならん事を、希望して止まざる也。

謝火災御見舞 合名會社 鈴木商店

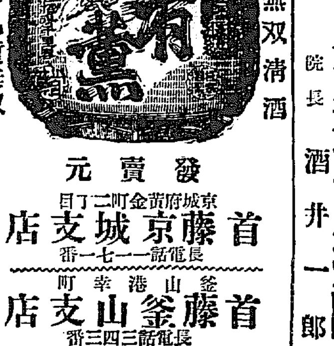
東洋モスリン
公債株式現物問屋・信託
東洋モスリン株 [illegible]
京城永樂町弐丁目 電話壹四九番
丸五商會 有田長

資本金六百萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城本町電話四一〇・五八〇番 振替貯金口座京城八〇一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候◎右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

あらゆるもの無手數にて取扱申候
化粧品石鹼問屋 伊勢勘號
大阪市南久寶寺町三丁目 振替大阪二八二五番

かつをぶし代用 調味料
最新 美味 滋養豊富 ダシノモト
味の出 風味絶佳
◎經濟なる事かつをぶしの拾分の一味の素の二拾分の一に當る
◎試食用見本ハガキにて御申越次第無代進呈す
◎是非一度御試し下さい◎各地到る處の食料品店に販賣す
特約販賣店御希望の方は至急御申込み下さい
かつをぶし代用美味 發賣元 大阪市外岡町(A三三) 金榮商會出張所
紙帽子及加工品 電話北堂六四番 振替大阪一九九九六番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 電話一八番 二六〇〇番
酒井婦人病院 院長 酒井一郎

醇良無双清酒
衛生無害品質無双


發賣元
京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話長一七一一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 電話長三四三番

大正七年七月一日改正現行

◎皇軍の上陸

浦鹽市内爲に緊張す

十一日午前到著したる我陸兵は同日午後一時に上陸し一番河の兵營に入れり日本軍の先頭到著するや日本居留民會商工會の役員來り挨拶したるのみにて上陸は非公式に行はれたるも軍隊の通路にある我領事館附近には日本小學校生徒其他一般居留民集まりて歡迎せるが市街は我兵の上陸に俄かに武裝されたるが如く大に緊張せり聯合國軍隊との敬禮交換式は十二日午前チェック本部にて行ふ筈也（十一日浦鹽發電）

△ニコリスクへ進發

我軍旗輝く浦鹽上陸式

陸軍省公表＝浦鹽に上陸せし我部隊は十二日午前九時より代表部隊を以て上陸式を行ひ師團長以下の我將校、與國代表武官、同軍隊、外交團及び觀衆整列の間を行進し我軍旗及び代表部隊は是等の敬禮を受けつゝ前進し無事儀式を終了す又我步兵の一部は上陸後ニコリスクに向ひ前進し十四日同地著の豫定なり（東京特電）

◎都市研究の爲に

＝東京市會議員鮮滿視察團入京

大連青島は研究の價値は充分だらうと思ふ

◇猫も杓子も一等白米だからね

都市計畫調査の目的を以て渡支の途に在る東京市會議員視察團一行を十四日夜途中驛に迎へた一行は總員十七名中の十四名で元氣頗る旺盛、滿鐵から特別の便宜を計つて呉れたと云ふ一等の貸切列車内に頑張つて談笑の盡る所を知らな

ので聊か弱つた一行中の二名は其の爲め釜山に殘して來なければならないと云ふ樣な始末です……何あに京城で落合ふ事に成て居ます

◇釜山では築港工事に一方ならず感心しました京城は十五日一日視察しそれから仁川、平壤、鎭南浦等を視察の上奉天に行く積りです而し日程其他の計畫は京城に落着いた上でいづれとも協議する積りです、其れから支那では濟南、北京、天津、青島、大連、旅順等を見て來月始め頃歸る豫定になつて居ます、御承知の通東京は既に第一期第二期の

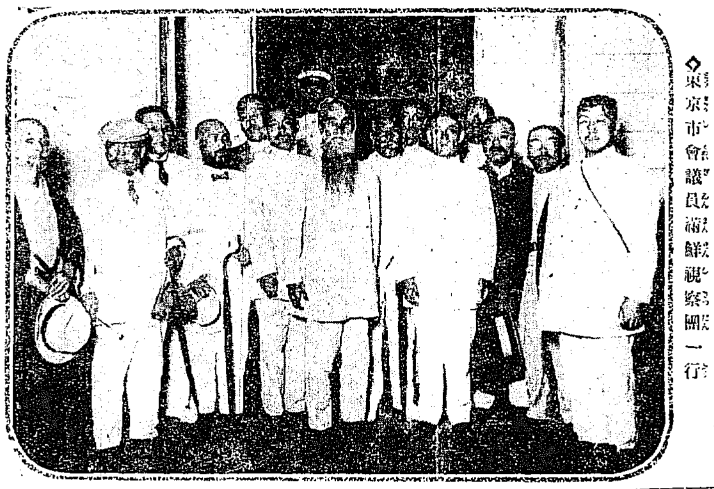
◇市區改正 と言ふ樣なものも全部完成して居る曉ですしこ云ふものを組織しましたに伴れ個々内務省が都市計畫調査委員會を作る事となつたのであります即ち東京府でも同じく市の調査委員會を作る事となつたのであります即ち今回は、旁〻斯樣な風な調査を兼ねて去る二日渡支人選確定し市友會から五名、公和會から五名、中正倶樂部から三名、無所屬から一名合計十四名の議員に市理事者側三名

◇兩宮日光へ

福島縣翁島高松宮別邸御滯在中の淳宮、高松宮は十四日午前七時五十分發日光田母澤御用邸に伺候され 兩陛下に御對面御物語りあり十六日まで御用邸滯在の上十七日御歸京十八日更に沼津御用邸に避暑あらせらるゝやに承はる（東京特電）

つた一行の大半は

◇鮮滿の地 を啻て踏むだ事のない人で其れ以外の人もずつと以前に來訪した事のある位の人達ばかりだ相である、東京市會書記長の八田五三氏は語る『兩三日前の豪雨の際は丁度船中に在つた



◇東京市會議員滿鮮視察團一行

を加へた一行十七名が出掛ける事になつた樣な譯です先づ今回は主として

◇大連青島を視察し樣と思つて居ます大連は非常に端正な市街と聞きます青島の如きは獨逸が極めて細心の都市計畫に因つて形造られた東洋一の大市街だと言ひますからね……研究の價値は充分だらうと思ひます……』と話す中汽車は漢江の鐵橋を渡つて居た、三日月の淡い光が閃々と水面に映じて銀と碎け玉と散り宛然繪の樣な夜であつた、記者が

◇『米價が昂騰して內地は隨分騷ぎますね……』と言へば『私達が出發頃東京でも會議を開いて寄々協議はやつて居ましたがね、東京は無事でしたよ、元來東京市では豆粕飯だとか何だの彼だのとあらゆる安價生活の途がされ丈けでも研究が積んでありますからね此んな時には大丈夫ですよ……』と呵々大笑してゐた一人の議員は

◇『正貨が徒らに膨脹すれば斯る現象は免れない所だ、勞働賃金は昂つても勞力は却つて減退すると云ふ樣なものであらう結局勞働者の力が強くなるからだ、其賃金が良いから從つて生活程度も昂上する一度良い酒を飲んだ奴は濁酒を飲まうと云はないからね…猫も杓子も

◇一等白米 さ!!!米も足るまいて……而し先づ下落したと云ふから何よりだ……』と盛んに氣焰を並べて居た汽車が南大門驛に著くと一行は三臺の自動車を驅つて朝鮮ホテルへ向つた

◎追々下落する

米不足の爲めにする＝輕擧妄動を愼め

內務省當局の談

這回の米價暴騰は種々の原因あるべしと雖も一は米最不足の懸念が誇張されたる結果に依るものと信ず農商務省調査に依れば七月一日現在內地米は一千六百七十萬石有て優に四個月を支へるに足り其他外米朝鮮米の移入あり米の不足無きのみならず九月に入らば新米も出で漸次下落すべき時期に在るを以て米不足の爲にする輕擧妄動は愼まざるべからず新米外米の供給は各機關と連絡を保ち一層敏活を期すべく各地に廉賣所を開設し細民に賣價以下にて供給しつゝあり各地暴動の動機は同情するも嚴重に取締るべし（東京特電）

◎岩崎男 百萬圓 ＝を寄附す

岩崎男は十四日內相を訪問し百萬圓を窮民救濟の爲寄附せり（東京特電）

◎憐れな下層鮮人の生活

小賣は現狀維持の模樣なるも下向となるものと一般に認め居り鮮人[illegible]白米の買還を爲したるものあるも鮮人中には夫等の事なく[illegible]

大 朝鮮酒一升に就き 三十五錢 / 小麥 [illegible] 二十八錢 / 大豆 [illegible] / 粟 [illegible]

◆下層者 はこれに南瓜を[illegible]混入し粥となせる茄子は多くは煮て[illegible]

◎連絡船上陸客

[illegible]

緩衝機（投書歡迎）

藝妓達に告ぐ 自稱 檢事

◆十四日の夕刊に京城各銀行會社員や某々商店出張所其他の白粉會社員が解剖と稱する猥褻行爲をなす由掲載されてあつたが事實とすれば實に怪しからぬ宜しく彼等不良老年、惡青年輩が猥褻し以て京城の風紀を紊亂せしむる行爲をなし壓迫を以て猥褻の行爲をなしたる者は六月以上七年以下の懲役に處す（下略）とある、但し第百八十條には告訴を待て之を論ずとあるがこれ立法上の精神より公訴の提起は行はれる犯罪事實が公表せられた場合は被害者の名譽を損傷する憂があるから被害者保護の目的を以て告訴の提起を被害者の意志に任じてあるのであつて被害者の決心次第で彼等猥褻行爲をした者を六月以上七年以下の懲役に處せしめる事を得るのだ

◆然るに藝妓は弱い者だ、人氣稼業だと云ふ弱味から親しさも、涙を呑んで忍んで居るのである、その弱味につけ込んで弱者を苛める彼等は實に人道上の罪、法律上の罪を犯して居るのである、實に憎んでも餘りある惡ふざけである

◆藝妓達よ、諸君は彼等に凌辱を加へられた上に厚顏無恥なる彼等のために得々と世間に發表されるのだ、巳に猥褻の行爲を加へられ、名譽を毀損せられて居るのだ、宜しく法律の保護する處に從ひ彼等を告訴し以て膺懲の斧を彼等の頭に加へよ、諸君は醜業こそ賤しと雖も一樣に人權を享有せられて居る、人權蹂躙の意味に於ても、惡青年、不良老年團を征伐せねばならぬ

薄給者より 傭人の妻

◆薄給者が困つて居る事は何誰にも解つて居るであらうがさて救濟となると見向いても呉れません、私達は恥しい事ではありますが其日其日の生命を繋いで行く事が困難で御座います、上の方の賞與だけあれば私共一家は一年中樂に暮して行かれますのにと思つて泣く事も屢々であります、町を歩いてゐる色々な贅澤にしてゐる方を見ると恨めしく思ふ事もあります、貧しい者の僻みと御嗤ひ下さいますな、私共は平穩な顏に油斷なく磨ぎこ節つて居るんです、一步踏違へば乞食になるか餓死するかの瀬戸際にあるのです、人を羨やみ、嫉み、怨む心がなくなつたなら私共は

◆人の情に縋る事を平氣でして居られるやうな人間になりてるです、どうぞ私共に生活の餘裕を與へて下さい、私共の生活は上の方々の金卷一本の價あれば辛うじて勞働を續け得る物丈けはどうにか斯にか購り得るのですから

◎東拓五千石の籾を電招して廉賣に決す

＝京城救濟會の手を經て＝

東洋拓殖會社京城支店にては目下その所有籾南鮮北に中鮮を通じ總計約九千石あり右の中黃州、水原並に江景、榮山浦等合計約五千石の籾を京城に集中し京城精米組合に委託してその精米を實行の上

▽時價 より頗る格安にて賣出す事に決定したるがその分配方法は府廳警察新聞社を以て組織せる救濟會の手を煩はす事となりたり唯米價が暴落して三十錢臺を割るにも至らば細民救濟の廉賣もその必要なきに至るに付中止するやも圖られ中旬頃賣出し

▽價格は 時價變動の際とて何れ當局も言明を避け居れども三十錢前後の値段を妥當と認め居る如し十五日より直ちに各出張所に命令して輸送に取掛れり

◎三巴の廉賣

一升卅五錢

京城白米商組合にては細民救濟のため總高百石を時價より十錢割引にて廉賣する事となりたるが淺松太郞氏の黃金町三巴支店にても又廉賣を開始したり價格は升に就き三十五錢にて一人五升以下也と

▲仁川から廻はす 三巴商會主淺松太郞氏は京城支店に於て右の計畫を爲し居れるも手持米無き爲め京城精米所筋に對し事情を開陳して白米の提供を申込みたるが目下京城米穀商間には白米の廉價計畫ありて他に提供する餘裕を有せずして應ずる能はざる事情あり依て淺松氏は仁川より右の廉賣用當米を廻送し十四日同地を積出し十五日より賣出しを開始せる事となりと（仁川）

◎開城米價下落

不逞商人に警告

貯藏米を賣出さしめ

開城の米價は他地方の如く騰貴せずして京城とは一升六七錢の値開きありて本月五日一升三十錢替六日三十二錢の市場價格なりしに去る十二日に至り三十八錢を稱へしも間もなく其午後に至りて

▼突然 にも四十錢となり四十二錢四十三錢となり市內內地人小賣商の如きは四十四錢に騰貴せしめしなど不穩の價格となりし爲め警察に郡廳にては朝鮮人の大地主を呼出し其貯藏米の調査を爲すと同時に其の貯藏米を賣出すべく說諭を加へ市場商人に對しても所藏米を

▼隱匿 せずして相當價額に賣出さすべく說諭を加へたる結果十四日に至りては一升三十八錢に低落するに至れり而して朝鮮人に於て多量の買占をなしたる者內地人にして三十五六錢にて買入れ乍ら四十四五錢にて小賣せし者ありて此等

▼不逞 の徒に對しては特に嚴重なる訓戒を加へられたる趣きなれば逐日米價は下落すべき模樣なり（開城特電）

◎買占の爲

元山値下せず

元山にては十五日白米小賣値段依然一升四十六錢にて値下せず右の理由は過般釜山奈須精米所より前後二回に亘りて約一萬石を買占め去りたる爲め在庫米少く商人は夫の爲騰貴へ居る有樣なり（元山特電）

◎平壤卅八錢

十四日白米値下る

平壤警察署長齋藤警視は十四日管內の米穀商を召集して懇諭したる結果白米の小賣相場を朝鮮人側商店にては一升三十二錢內地人側は同じく三十八錢以內にて販賣する事に一致せり

◎東京市場 立會休止

米騷動の火の手十三日夜東京市にも傳播せるより米取引所は立會不穩と認め十四日立會休止せり（東京特電）

◎鮮米卅錢

大阪の廉賣 寄附百四十萬圓

本報＝大阪富豪の米價騰貴救濟寄附金百四十萬圓にて米廉賣を開始せるが內地米一升三十八錢鮮米三十錢外米一升十五錢なり（大阪特電）

◎鈴木の外米放出

愈近く京城著＝成る可く需用者の手に渡す計畫＝多大の效果あらん

神戶鈴木京城支店の移入に係る外米三千三百石は近日到著する豫定なるが同支店にては右外米の成る可く需用者の手に渡るやうにこの趣旨より當局官憲と打合せの結果京城に北（大部分卸）ち二千石を供給し殘餘の一千三百石を仁川及び京釜京元兩線に按配する事となりたり而して京城著の分は主として小賣商店に賣渡す筈なるも尚百人以上の職工を有する工場には二十石を百人以下の小口に對しては一人に付一箇月分を直接供給する由で仁川著値は二十圓七十五錢なるがこれに運賃諸掛を加算するも京城著の小賣値段は二十二錢內外に過ぎざるべく現下の窮狀を緩和するには非常なる效果あるべしと期待されつゝあり尚此際の事として小賣屋も損得を構はず義俠的に外米賣出しに努むる筈なるが一人の賣渡し數量を二升以下として決して某以上は高給の均衡を保つた決して販賣せず尚鈴木支店に於ては四百石以下の大口註文に對しては特に相談に應じ充分其便宜を圖る由

◎馬山の廉賣競爭

廿八錢に迄下る

馬山にては目賀田商會十四日夕景より救濟の意味にて一等白米一升三十五錢にて賣出せしに米商の主なる者亦同値にて賣出せるより目賀田商會にては更に一升三十錢に値下せしに皆亦同値に引下げ賣出し中には二十八錢に販賣せるもあり米屋同業者安値賣出しの競爭を初め公定相場立たざるも時價は尙四十三錢位なる可し（馬山特電）

肺病に奇効ある（ザリ蟹）同病で困る御方に捕りて上げます。捕賃五拾錢二百四五圓 青森縣大湊町永下盤山 齋藤福松

◎鈴木一千圓

を寄附す 京城救濟會へ

京城鈴木支店にては細民救濟會基金として十五日金一千圓を同事業に寄附する處ありたり

◎火の消えた樣な大阪

形勢によつては戒嚴令を布かれん

大阪にては十四日白晝掠奪行はれたり米屋征伐に初まり暴徒は今や强盜團同樣の狀態となれり大阪府知事は當分大阪市、堺市並に府下東成郡、西成郡に於て夜間五名以上の集團の步行を禁止し違反者は三十日間の拘留二十圓未滿の科料に處す旨命令を發したり電車は十四日休止するに至り各商店、興行、遊廓等皆休業し全市火の消えたるが如し暴民の中には社會主義者らしき者交り居る模樣なり軍隊は在阪諸隊全部出動配備警戒なり、流言蜚語盛んに行はれ富豪大商店を襲來せんとの說あり不穩の狀態なるより形勢の如何に依つては戒嚴令を布かるゝに至るやも知れず（十四日午後七時大阪發電延著）

◎京都稍靜穩

京都は其の後十四日稍靜穩に歸せり（京都電報）

◎神戶警戒嚴重

神戶十四日尙不穩掠奪行はれ軍隊引續警戒中也（神戶電報）

◎首謀者判明

東京の米價騷動に就ては十三日夜檢束せる者の取調により首謀者煽動者も判明したれば近く相當手段を執る可く尙十三日夜各署に拘引されたる者合計六十七名に達せり（東京特電）

◎救濟會へ寄附

金品既に多額に上る

既報の如く米價昂騰に付細民の救濟及び米廉賣の爲め設立せられたる京城救濟會に對し十五日迄に左の如く寄附の申込みありたるが尙ほ續々此種の義擧を希望すと

米七十石粟七十石及現金三千圓 鮮人某
金五百圓 末森富良
金千圓（本社經由） 天道敎會
金百圓（本社經由） 廣江澤次郞
米百石を時價十錢安にて廉賣申込 安達熊太郞

◎警務當局の奸商取締

各道警務部に通牒を發す

米價狂騰に伴なふ正米の供給不足市況の混亂に乘じて各地に奸商輩出して暴利を占めんと不正の手段を弄する者續出せる事は本紙屢報の如くにして是れが取締に對しては警務總監部に於て常に注意を怠らざりしが這回各道警務部に對し保安課長より左記の取締方通牒を發せり

買占 又は其の程度に至らざるも前途の相場變動を見越し比較的多量の買附を爲さむとする者に對しては保安規則其の他關係法令違反の罪犯を構成せざる場合に在りても必要に應じ公安維持上之を中止せしむる樣說諭を加へ機宜の手段を以て防遏を期すること

小賣商に於て計量上『桝減り』に依りて生ずる不正利得の多額なるに著眼し近時其の弊害多く且手段一層巧妙を加ふるの傾きあるを以て此際之が檢査を嚴にし犯行を發見したるときは假借なく處罰を加ふること

同上小賣米受け渡しに際し下等品を混入し其の差利を貪らむとする者亦多き傾きあり前項同樣の方法を以て之が檢査を爲すこと

◇各地の白米

＝十五日小賣値段電報＝

▲全州 相場變動なし一等白米一升四十錢
▲鳥致院 一等白米一升三十八錢二等三十六錢三等三十四錢
▲淸州 一等白米一升三十四錢に下落す玄米二十七圓より下等二十三圓にて日々暴落の模樣なり
▲兼二浦 特等米一升四十一錢
▲公州 一等白米一升三十七錢
▲木浦 一等白米一升四十一錢廉賣三十八圓、先日來買置の結果賣上少し
▲平壤 一等白米一升三十八錢氣配弱し
▲裡里 十五日白米小賣値段變動なし
▲淸津 一等白米一升四十五錢
▲長春 米價確實なる店の調査に依れば猶特品ある爲め前報の如く四十九錢四厘なれど他の店により五十一錢より五十五錢までの差ありて一定せず
▲仁川 小賣白米十五日午前三錢値下げ特等一升四十錢一等三十九錢五厘二等三十九錢に下落せり

◎暴風警報（十五日午後一時半分發） 風亞かるべし ▲氣壓中心 黃海中部 ▲示度 七五六 ▲方位 [illegible]

天 あ （十五日午後六時より十六日午後六時迄）

◎バコダの演奏 十五日（木曜）午後七時よりバコダ公園に於ける李王職音樂隊奏樂あり

初日 滿員御禮

合同 落語大一座

長唄 杵屋勘左衛門 杵屋勘三郞 出演

浪花館

演藝案內

有樂館 活動寫眞常設館 早川演藝部直營 米國ユニヴアサル會社特約 東京小林商會第一手代理店
◎寶島 鯉 守 全壹卷
米國ユ社バイソン映畫 ○人情活劇 馬賊の最後 全貳卷
米國ユニバーサル社第三回喜劇特作品 □フレッド、チャーチ氏出演 □アイリン、セジウィック嬢出演
◎社會劇 拜金狂 全五卷
◎喜劇 物價騰貴通し 米國ユ社青島特作品
○人情活劇 八民 全五卷
◎御德用回數券發賣仕候

浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 ○八月十四日より開演 東京大阪合同落語大一座

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 當る十六日より特別大寫眞 ◎連續第二篇『秘密の王國』

壽館 本町一丁目 電話一〇五〇

黃金館 電話二一六三七 二三六六 ◎眼醒しき大寫眞◎ ◎桑の中內

…米價騰貴が如何なる影響を…細民の生計に與へつゝあるかを今京城…内鮮人に就きて見るに米價の…

◇購買力　減少し殊に大口…の購買殆んどなく僅に一二升以下…の升買に過ぎず而して内地人側は…下の京城にては雜穀類も既に一升…に就き二三錢方の値上をなし居れ…るが其の價格左の如し

…以上の如くにして目下細民の主食…狀況を見るに上昇に比するものは…米、粟、小豆を三分とし…[illegible]

雨を冒して
元山の一日（1）
＝汽車は出て行く＝煙は殘る＝

第二回の元山行臨時納涼列車が出る、十一日は朝から雨催ひ夜に入つて稍小降りにはなつたもの、一向歇り相な模樣もない、空はインキでも流したやうに黑暗々として無論星影一つ認める事は出來ぬ

『是りや、態々元山まで出掛ける好奇もあるまい』

『餘うたれ、先づ吾々位のものだらうよ』

今迄の動搖めきは何處へやら、ヒツソリ閑とした南大門驛の待合室では、多分元山行の納涼客であらう、汽車を待つ間を二三人、額突き合はして斯んな會話を交へて居た――。

『好奇は好いさ、だが餘り客が尠ないと臨時列車がオジヤンになつちまやしないかね』

『と云つて此位スゴ〳〵歸るのも癪りが居る――』

『だから僕が止さうと云つたのに』

『臆病ぢやない、今になつて……』

問ふに落ちずして語るに落つ、彼等は矢張元山行の納涼客だつた、恐痴を溢はし泣言を並べるのも決して無理ではないが然し、恐痴と泣言となつた心配もホンの杞憂に過ぎなかつた、世に泥棒の種の盡きぬ間は依然として好奇の種も盡きぬ譯で五人十人づゝ好奇な人間が集まつて來て、待合室は俄に色めいて來た。老人や女も居る、肩から魔法瓶を吊した男の子、お下げにリボンの女の子も鄭々砂くない、然もそれが皆言ひ合はしたやうに浴衣がけ、手籠の外に何にも持たぬと云ふ輕い扮裝が如何にも日曜を利用しての短い旅に適はしかつた。人足は刻々に繁しくなり十一時發車前までには其の數既に百以上と註せられた、この天氣に……この雨空に……實に素晴らしい程の景況である、茲元「滿鐵寄贈」の形だが米が四五十錢もすると云ふこの節、夫さは何たる皮肉であり何たる矛盾であらう。

定刻、汽車は出て行く、煙は殘る、殘る煙は何でもないが黑白もわかぬ眞の闇に、窓外の展望を遮られたのは砂からず癪に觸る、唯た窓から流れ込む風の涼しいのが何より何より、是は夜行ならでは到底味はれぬ快感だらうと無性に嬉しく感じられた（西村生）

◎兩將軍
大谷大將と由比中將の平素

遣次浦鹽派遣軍司令官に補せられた大谷大將は人格の人として部内に推重されて居る、日露戰後陸軍では毎年將官以下佐官位の處を歐洲に派遣して最近軍事界の情況を視察せしめる方針であつた、大將は其頃教育總監部の本部長であつたが此觀光團のお鉢が大將にも廻つて當局は其旨を大將に通ぜしめた、この選に當つて

◇喜ぶかと思ひの外◇

大將は一向そんな模樣もなくひたすら之を辭退して已まぬ、そこで特に當局は現に參謀本部の要職を占めて居る某將校に命じて切に大將の出遊を促さしめた、時に大將は徐に當局の好意は實に感謝の至りだがこの老先短き自分等が外國へ

◇行て見たところで◇

特にお國のお役に立ちさうにも思へぬ、殊に自分は外國語と來ては一ごこの言葉も出來ぬ夫で外國に行くそれよりは自分が外國に行く丈けの費用を拋て若い有爲の將校がその方が却つてお國の爲になる

◇二人も三人も行け◇

るこして頑として外遊を承知しなかつた、此細のこどだが大將の面目はこのことに依て躍如たるものがある當時使に立つた某將軍の話

◇由比中將は高知縣◇

産で質好きを以て名ある將軍、今は少々控へ目にして居るけれども其の盛んな頃は軍服のポケツトこいふポケツトは朝日ばかりが充塡されたもので

◇一日に朝日が百本◇

以上なければ間に合はなかつたものだ、中島少將も由比將軍と同郷の高知の産

◇陸軍切つての露國通◇

で從來日本に居ることよりも露國に居たことの方が多い位、少將は至つての酒豪で斗酒辭せざるの槪がある而もいくら飲んでも

◇頭に響かぬところ◇

が少將の獨特、稻垣少將は最近まで英國に駐在して居た、陸軍部内有數の英國通として知らる、殊に歐洲戰線に就ては最近知識を包藏して居るとて部内に重んぜられて居る（東京）

◎平壤後援會
十二日午前九時より帝國軍人後援會平壤支會に於ては同府廳内にて役員會を開き出征軍人家族の救護に關し種々協議を爲したるが同十一時閉會したり因に右役員會に於て調査したる結果救護を要する者は比較的少く尙平壤在住出征軍人は二十三名にして各戸に『出征軍人何某』の門標を揭示することゝなりたり（平壤）

◎チエツク軍の歡迎
[illegible]より哈爾賓に來るチエツク軍歡迎の爲め長春の歡迎會本部は市民を叫合して次のプログラムに依り盛大なる同軍の歡迎をなしたり（一）慰問袋（卷煙草及び刻煙草、燐寸、新葉書、紙類、鉛筆、乾菓類等を入れたるもの但し茶及び砂糖は同軍が充分に携帶せるを以て封入を要せず）を贈呈する事（二）本委員會は軍用列車到着に際し夫人連に對し可成純白の服裝にて出迎ふ事（三）軍隊到着に際して豫約パンと麥酒の贈呈を爲すこと（四）軍用列車の際麥酒を提供し慰問品を贈與す（五）軍用列車着時刻を新聞に廣告することゝせり（哈爾賓）

慶北共進會
宛然たる小博覽會

慶北在住の一般内鮮人が多大の期待の下に其開會を待てる慶北第二回共進會は既報の如く共後着々準備進捗し出品申込の如きも七月末日を以て既に之を締切り目下之が整理中にあり又一方各府郡島協贊會にありても是亦之が準備進行に努めつゝある有樣なるが元來今回の共進會は第一回の夫れに比し遙に其規模大に内容亦之に伴ひ充實せしむる計畫にて出品物の如きも朝鮮人側に對しても出品勸誘の爲したれば宛然小博覽會の觀を呈すべく又通道は固より遠く京畿、忠北地方に迄び一般の人氣漸く昂上しつゝある模樣なり而して既報の如く同會の各種規模の續々發表せらる、去る十日地鎭祭執行後之が建設地たる道路講社所敷地に於て建築に著手したるが共催曾大郎協贊會側幹部は此機會に於て一夕の交驩を爲すべく同夜上町在郎新聞記者團を招待し簡楚なる晩餐を共にしたるが席上吉松事務長より共進會開催の趣旨並に同會の施設計畫に就き詳細なる講話ありたり以下逐次之を揭載し一般の參考に資すべし

◆地鎭祭の執行　慶北共進會事務所に於ては同會建設地たる蓮池畔に於て去る十日午前七時より地鎭祭を執行したり、定刻關係者並に官民有志一同列席神官の修祓、降神式、祝詞、獻饌、次で高長官代理參與官、吉松事務長順序に依り神前に玉串を捧げ終て撤饌、昇神式を行ひ八時無く當日の祭式を終了せり（大邱）

◎慶南水害額
過般出水に際し慶南各郡の蒙れる損害は大略左の如くなり（晋州）

晋州	二七〇九五	咸安	一二一八四
密陽	五五二〇	金海	二六八一九
昌原	一七九六〇	泗川	四九七三
咸陽	三八〇〇	居昌	一七〇五

◎三菱製鐵力
◇時價にして八萬二千圓◇

三菱兼二浦製鐵所第一鎔礦爐一日の洗鐵製造能力は百五十噸の豫定なりしが成績頗る良好にて今日に於ては最大能力を超ゆ一日百六十噸を出し時價約八萬二千圓の鐵を製出しつゝあり（兼二浦）

◎勞働者全盛
米が高いこいつても勞働者の賃銀は比較的高い現在平壤に於ける勞働賃金は左の如くである（平壤）

職名	内地人	鮮人
大工	二圓三十錢	一圓五十錢
石工	二圓六十錢	一圓五十錢
左官	二圓三十錢	一圓二十錢
ペンキ	二圓二十錢	一圓三十錢
人夫	一圓七十錢	八十錢

◎新義州戸口
新義州府警察署調査の七月末現在の戸口左の如し（新義州）

區別	戸數	男	女	計
内地人	八〇〇	一〇三六	一〇〇七	二〇四三
朝鮮人	七〇七	一〇五五	一〇〇四	二〇五九
支那人	三二一	一〇〇四	三四	一〇三八
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

親善の根本義
支那智識階級思潮
奉天にて　巴生

日支親善の急務である事は啻に吾々日本人が絶叫するのみでなく支那智識階級に於ても最も重要視して居る、併し其親善は只口に唱へるのみであつて其實内心日本を排斥し又往々親善に矛盾した行動を敢てする事が珍らしくない、日支相互親善の急務である事を知り拔いて居りながら何故に右の如き現象を齎すか吾人をして忌憚なく言はしたならば即ち親善の根本を究めずして只徒らに其實現を望んで居るからであると云はざるを得ない、如何となれば其所謂親善なるものは國家と國家との親善であつて政府と政府との親善ではない乃ち國民と國民との親善であつて當局と當局の親善ではない、日支當局は其處に氣付かず只政府と政府と協約すればよい當局と當局とが提携すればよいと思ふて居るから大ひなる間違ひである、右の如き思想は支那上下を通じて充溢して居る今日であるから政府と政府と取極めた協約當局と當局と締結した借款等に反對する事もありそれが嵩じて排日思想を誘致する事になる、今支那新聞に論ずる日支親善の要諦を飜譯すれば左の如き論法である

『成程日支親善は刻下の急務である、併し此等は口で云ふよりは寧ろ實行しなければならぬ問題である、然るに今日の有樣は如何、兩國の内閣は政界上の作用で互に相援助して居る、其目的の存する所は只に其現在の地位を鞏固にし其固有の勢力を維持する事に努めるのみであるから兩國政府の有利有益なる仕事なれば則ち力を竭し之れ關り民意の如何こか輿論の如何等に就きては毫も頓着しない之が即ち非親善たる本旨である、支那は南北戰爭に依り力を勞し財を傷つけ數省を糜亂し農は野に嘯き商は市を停め老幼は溝壑に轉び壯者は四方に散亂して全國の人民只管調停を希望せぬ者はない然るに北派軍人は今日に於て尙悟らず自己勢力の擴大に努め、和議を忌み愈々戰爭を繼續しようとする、之れ擧國一致心を痛め、頭を惱し慨怨嗟惜く能はざる次第である日本政府苟くも兩國の親善を求めるならば即ち積極的に南北を調停するか、然らざれば消極的に平和を促進せしめねばならぬ、南北雙方は專ら政治的關係で戰爭するのであるから、若し一方をして何分讓歩せしむる事が出來るならば斷じて戰爭などはない筈である、苟くも日本は友邦の交誼こ云ふ立ちから出て其間を調停し、毫も北を援けず南を壓へ、亦南を援けず北を制し、一視同仁公明正大なる斡旋の勞を取つたならば則ち双方共必ず日本の高誼に感じ而して和平は期して待つべきである、他に消極的方面なこ研究する必要はない、支那は鼎革以來連年兵を用ひ民は衰へ財は盡き此頃の南北對峙の如きも其久しきに瀕らば外は強く見せかけても中は乾き立ちこころに破綻するは免れない、何故なれば今日軍餉の有ることふのも皆借款のお蔭であるから若し日本をして此際一文も借さなかつたならば則ち軍餉の出所も無く和を說かずして自ら和すべきは火を見るよりも明かである、然るに日本政府は出で〻調停の任に當らざるのみならず入りて復北方に對し巨額を貸しつゝあるから恰も虎に翼を貸すと同じく其戰禍をして益々延長せしむるは免れぬ、日本政府と雖も固より災を喜び禍を樂む心でもあるまじく又支那人も亂を壓へ平を望む愈々盛んであるから日本は雙方に對し既に決して援助すべからざる立場である況んや獨り北方に歸す南を壓するこ云ふ嫌いこ云ふ譯には行かぬ原因であつて又即ち日支親善の前途に對し大なる障礙たるは免がれぬ今月支那國民は政府が日本こ一約を訂し一款を借る毎に其内容の如何を論ぜず條件の如何を問はず必ず大聲疾呼極力反對するのは蓋し日本人を惡むに非ずして乃ち日本からの借款に依り間接に亂を助長せしむる恐れがあるからである、若し右の如き杞憂がなく財政缺乏せる支那が日本から巨額の資金を借り而して其實業を振興し其富源を開發し得るこすれば乃ち支那人は其借款を歡迎すると共に大いに日本に對し感謝する事は疑ひない何ぞ擧國人士聲を同じうし反對を唱へる者があらうか此等の點から考へても全國民意のある所を知る事も出來又日支親善の根本の存する所も捕捉し得る筈である故に日支兩國が眞實の親善を求めようこするならば即ち必ず大多數の國民と相提携し小部分の偽政者こ相結合する事は不可である朝野上下一視同仁而して從前の方針を一變し其要務に向つて進まば邦交日に睦じく國勢日に隆にして共に富強の域に躋る事が出來るに幾庶いだらうこ信ずる徒らに挖言に託し或は強を扶け弱きを抑へ或は同に黨し異を伐つこ云ふ方針であつては是れ徒らに兩國の感情を傷つけるのみである』

右は葉俠公が日支親善根本義を論じた一節である、右の如き思想は啻に葉俠公一人の思想ではない、即ち支那智識階級を通じて抱有する所の最も有力なる思潮であること云ひ得る、吾々日本人から考へても一理ある說こ共鳴する事が出來る、自分も二三日前或新聞に日支軍事協約を有用たらしむべく活用するには南北を妥協させる事が先決問題であるこ論じた其の企望する所に何分似寄つた點がある、今日の日本は確に平和を以て任ぜねばならぬ立ち場である、然れば東洋の平和を持する爲めには怎うしても先づ南北支那を融和する事が必要である、支那商民は恐く平和を望んで居る、南方政府も戰ひの愚なるを知つて居る、主戰北方派の内にも或分子には戰ひを欲しない者が多い、此時に當り日本が誠心誠意支那國家の死活が一に南北戰爭にある事を力說し其反省を促すと共に南北調停の斡旋をなしたならばそれを振切つて極力南征を敢行せねばならぬこ頑張る事はなからうこ信ずる若し頑こして日本の勸告を容れなければ何こでも方法はある若し日本にして南北支那を絶對融和し得ないとしたならば到底東洋の盟主國こして立は事は不可能である、支那は日本より弱い國である、其弱い支那こ軍事的協約を締結したに就いては其處に義俠的離信があらねばならぬ何故なれば利害から云へば必ず損である事は言ふまでもない、併し其獨禍の跌蹶から救助すべく共同的防禦を誓つたのであるから此危機に際し只單に對岸の火災視こ云ふ事は東洋盟主國たる日本の行動こして適策こ云ふ事が出來やうか若し日本人より見ても甚だ不重要なく感ぜられる、況してや日本の力に俟たんこする支那人に取りては不滿足のみならず日本は更に支那の不滿足を感ずる事であらう、只にて擾亂を助長せしめつゝあるこ曲解しては日本を恨み日本を排斥するも無理ならぬ次第である須らく日本は一部の小利害に拘泥せず東洋の盟主國こして天地に耻ざる行動を取るのが焦眉の急務である、而して支那全國をして平和に導き四海和樂の域に導いたならば支那民衆は日本の行動を德こして日本の眞意に感泣するは明瞭である斯して毫も後顧の憂ひなく北防に盡瘁し得せしめるのは日支軍事的協約を活用する手段にも適合する譯である、眞に支那を愛し眞に支那を思ひ眞に支那を指導する事が獨て支那人をして小服し日本の力に信頼せしむる思想を釀成するこれが即ち日支親善の根本義である

在米調
晉州（慶尙南道）

米價撤底の暴騰を折柄晉州米穀商の手持品を調査するに僅に五千石以上の在米ある如くなるも先高を見越し倉庫の奧深く藏し置惜しみの狀態なるを以て全然在米薄の觀を呈せるなり晉州各商店の手持米左の如し（晋州）

郡相秒商店（二千二百石）後藤商店（二千二百石）加島商店（二百三十石）（五百石）山本精米所（五百石）谷政安商店（二百五十石）金斗呂商店（六百石）外小商人持米（六百石）計四千六百九十石

各地財信
◎浦項經濟狀況（慶北）

慶北浦項の[illegible]同地方一帶の經濟狀況を聞くに本年は七月中旬風水害の被害頗る多く殊に浦項地方に至る迄の厄に遭遇したる爲に從つて移入雜貨類に綿糸布類の商況は不振に陷り市況沈滯を極めたり、一米穀類は[illegible]其他に關聯して稍載せられ[illegible]を保ちたり[illegible]（大邱）

◎米の暴騰と餓か米屋の續出＝晋州にて
◇金貸業者も雜貨屋も◇

慶南晋州にては連日米價の昂騰に加へて豫め儲かるに間違ひなしとの見込にて素人の米屋續出し金貸業者も雜貨商も採算上米を商ふ方が利廻りが餘程よく貸倒れの恐れなき故互に先を爭ひ地方に米の買收に飛び廻る有樣にて俄か米屋の成金續出せる有樣なり（晋州）

◎端艇で駈落
娼妓と店員が情死に非ざるか

平壤賑町美好樓抱へ娼妓千鳥こと藤村ムラ（二一）は馴染客南門町山本硝子店店員三重縣員辨郡山郷村大字南中津原生れの伊藤宗治（二二）と共に同遊廓裏手の岸よりボートに乘りて其儘行方不明となりたるが同遊廓にては最初船遊びを爲しれるものと思ひ捨置きたるも歸宅せざるより不審を抱き百方搜索の結果下流オーナンド島と稱する小島に該ボートの乘り捨あるを發見し附近を搜索したるも兩人の姿見ねず今尙搜索中なりと云へるが或は合意にて情死したるものに非ずやと噂し居れり（平壤）

◎追手を撲殺す
◇支那人坑夫十名にて◇

平南江西郡鮫陽無煙炭坑々夫支那人八十名は共謀して逃走を企て鎭南浦を去る一里餘を距りたる瓦礁工場まで落伸び同所にて休息し居れる處へ前記無煙炭坑よりの追手に發見せられ取押へられんとしたるより該支那人坑夫は抵抗し共先に進みたる朝鮮人某を棍棒を以て打擲ち頭部に長さ七寸深さ五寸の重傷を負はせ且其後逃走したる一方被害者は鮮血を浴びたる儘に鎭南浦署に訴へ出でたるも共後人事不省となり要領を得ざりしも附添ひの者より委細の話を爲したるより同署にては被害者に對し應急の手當を施し一方加害者を捜せし處内六人は逮捕したるも殘餘は未だ逮捕されず而も被害者は遂に死亡したり（鎭南浦）

◎什長と部下まで
◇蟲の息になる迄撲る◇

東兼二浦甲羅里九方橋本組什長閔永楨（二九）人夫李保七（三）兩名は十三日午後一時頃東兼二浦里二三六椹永基方に於て仕事の事より知人なる安秀明を棍棒を以て毆打し蟲の呼吸になる迄打のめしたるところ駐在所巡査の手に取押へらる

張三李四
◇よく溺死する所◇　平壤大和町八四劉三進（三）は大同江第二鐵橋下の河中に入り釣をなしゐたるが淺瀨と思ひて深入せる爲め深間に陷りて遂に溺死したり

◇增水の爲め溺死す◇　平南順川郡梅南里白壎淳（三）は南川を暗夜に渡渉したるに降雨に依て四尺以上增水せる爲遂に河の中途にて押し流され無慙にも溺死す

◇旅人宿から失火す◇　平南江東郡晶湖面鳳栖里旅人宿洪在俊方より出火し同家を全燒し納屋に延燒したるも漸く鎭火したるが原因取調中なるも過失ならんと

◇敗地内家屋取拂ひ◇　兼二浦鐵所高泰郊部は遊廓地内に許可なく家を建てたる者三十餘名を召喚し向ふ四十日間内に該地域を立退くべき樣嚴達せり

◇狂人巡査に暴行す◇　住所不定の萬永福（二五）こいふ狂人は平壤大同門附近徘徊中擧動不審なるより警官が誰何したるに其警官に暴行せしかば直に取押へらる

◇菓子屋の主を傷く◇　平壤壽町大黎亭雇人朱川錦は同町菓子屋郡軒へ主家の支拂金を持行き受取證の事より同家の主を蹴り負傷せしめたる騷ぎに拘引さる

農信
麥は見直す（平南）

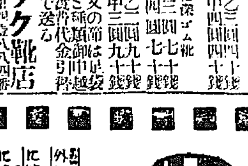
六月上旬の調査に依れば麥作の見込は大麥前年に比し一割六分四厘の減收にして小麥は一割二分七厘の減收見込なりしに其後天候極めて順調にして風雨の害なき爲大に回復し大小麥とも生育良好にして刈取期に於ける收穫見込高大いに增加せるが其の割合左の如し

種別	收穫見込	前年比較	割合
大麥	一一二三九	九一三減	八厘減
小麥	一一七五八三	一九九[illegible]	一二分[illegible]

▲廣告▼

縞セル　只の一圓卅錢
一反　東京市日本橋區本石町一丁目　貝谷商店にて今回三千反の新柄縞セル地を引取りたるが品質の優秀なる[illegible]其の新柄は[illegible]一反一圓三十錢[illegible]送料も[illegible]

しんぞう
心臟病　胸に痛を覺ゆる人　動悸の[illegible]る人[illegible]手足の浮腫[illegible]永年[illegible]此の[illegible]新[illegible]詳細に返信す
兵庫縣明石郡神出村　大津屋

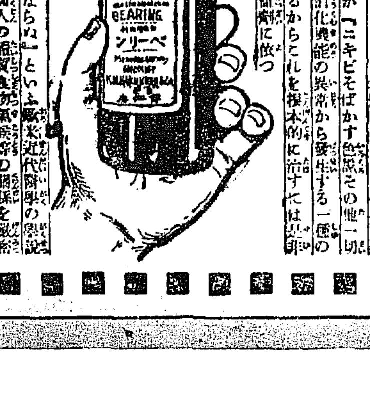

丈夫で安い實用靴　ボックス革製
編上靴　乙三圓四十錢　甲四圓四十錢
深ゴム靴　乙三圓七十錢　甲四圓七十錢
半靴　乙二圓九十錢　甲三圓九十錢
御注文の節は足袋文數と種類御申越あれ賃内代金引換小包で送る
陸軍御用　東京牛込肴町六〇　ツブク靴店　振替東京八四番

美味なる　虫下し　最良藥
定價　五錢　十錢　廿錢　五十錢

岩崎大海堂セメン菓子
美味なる　▼虫下し最良藥
商標　丹珊鶯尼漫菓子
本舖　大阪天王寺烏居前角　岩崎大海堂
▲内外藥店にあり
主治効能　蛔虫諸症疳蟲蟲熱　夜泣の蟲。乳あまし　蟲腹痛み。疳熱の蟲　蟲胸惡く。勞熱の蟲　蟲せき。驚風の蟲
近來粗惡なる紛物續出す。烏居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ

近代醫學に感謝せよ！
白色淨血劑　ペーリン
就職の邪魔になる　ニキビをとる
お嫁入の邪魔になる　そばかすをとる
人に羨やまれる程早く　色白くなる

白色淨血劑ペーリンは日本人の體質にしつくりと適合した何等害のない最新の皮膚病内服藥である。近來本劑の盛名を嫉んで幾多の似ても似つかない模做藥が續出するやうであるが本劑は元來本房化學試驗部技師藥學者等が『ニキビそばかす色黑その他一切の皮膚病は體内消化機能の異常から發生する一種の毒素の作用であるからこれを根本的に治すには是非適當なる内服淨血劑に依つてその毒素を體外に驅逐せねばならぬ』といふ歐米近代醫學の學說に據つて多年飲食物と氣候等の關係を綿密に參酌して苦心研究の結果發見した學理的の新藥であるから、斷じて他の模做追從を許さぬ偉効を備へてゐるのであるその證據には大正三年政府の認可を得て廣く社會に試藥を提供し驚嘆の結果その効力絶大にしてニキビそばかすをとり色を白く血色を美しくし赤鼻、あぶら顏、毛髮脫落、常習便秘その他の吹出物に卓効あることを證明せられその効きは實に驚くべき方面の多きに達してゐる。ニキビそばかす色黑に惱む人々よ。諸氏は坊間の似て非なる模做藥に欺かるゝなく眞正の白色淨血劑ペーリンに手頼られよ。諸氏は數日ならずして眞心からこの完全なる白色淨血劑を生んだ近代醫學に感謝されるに至るであらう。



試藥大提供
試服御希望の方は廿五錢郵券添附あれ『最新皮膚病治療法』を添へて直ぐ送藥する

藥價　六十錢（四十五錠入）　一圓（九十錠入）　二圓（二百錠入）　三圓（三百錠入）

東京上野櫻木町四十　瑞川ペーリン本舖　化粧ペーリン　合名會社博仁房　電話下谷二八八一番　振替東京七〇六〇番

日本政府登錄　白色ペーリン

□全國到處の藥店化粧品店にあり

豫報　め[illegible]
京城測候所[illegible]
前日最高溫度　二十七度三分
[illegible]　二十二度九分
[illegible]　八十三度五分
[illegible]　二十八度六分
（舊七月十日）
入梅　半夏生　二百十日　彼岸　社日 [illegible]

商況

東京期米特電 休會

兵庫期米特電 休會

大阪株式特電

銘柄	拂込額	十四日後場
宇治川水	五〇.〇〇	……
京阪電鐵	五〇.〇〇	……
東神紡績	五〇.〇〇	三九.五〇
合同紡績	五〇.〇〇	……
鐘淵紡績	五〇.〇〇	二〇四.〇〇
同上新株	四〇.〇〇	一六八.一〇
東洋製鐵	五〇.〇〇	……
大阪商船	五〇.〇〇	三三.七〇
日本郵船	五〇.〇〇	二一四.〇〇
同上新株	五〇.〇〇	……
堂島米穀	五〇.〇〇	一五四.〇〇
東京株式	三五.〇〇	一
大阪株式	六〇.〇〇	一〇四.五〇

大阪三品特電 十四日後場

八月限	三九八.九〇
九月限	……
十月限	……
十一月限	……
十二月限	……
一月限	三八八.九〇

大阪期米特電 停止

下關期米特電 停止

雜報

●綿布は瓦落 三品市場の暴落聯騰に綿布又不勢十四日の大阪相場は三綜先物十三圓十錢の入電にて高値より **三十錢方低落** せり延いて當地綿布市況も俄然鎖押し前日迄三百五十五圓を唱へられし世布三エーは**約八圓内外の瓦落**を告げ朝來の唱へは**三百四十七八圓見當**なるも買見送りの爲め取引閑散なり

●**三品四百圓割** 思惑筋の手仕舞へ賣進みに四百圓の大關門を無雜作に突破せし三品市場も當限の四百十四圓十錢を高値として行悩み北浜下押しの際にも辛うじて四百圓臺を支え居りしが昨前場の入電は**當限三百九十八圓九十錢**の高値より**約十六圓方の暴落**を告げ場帳に仕入關係**行過ぎ相場**に警戒せる機先**米暴動**の**勃發の波動を加味**して一層反動を促進せしものゝ如し

●**正米無商内** 正米市場は高値當時に於て各地以上に人氣先走りし爲今回の反落も大丈夫値下り大なりしが何分高値より一氣十四圓方の崩落を示せし事とて昨十四日の市況は人氣消沈模樣となり持合ひの躰にて**却て小堅き成行**きを報せしが當市場は共後各精米所共**一齊買控方針**の姿なり居れる爲め賣込みも鈍り居る爲め今朝は雨天にもあり旁賣氣は皆目姿を現はさず商内の行はれざるは無論相場の見當さへ不明にて况は**連日暗中模索の狀態**よりすれば此處の**上玄米の三十二圓處**にて實際賣買の行はるゝに至るか内地相場も頻々安値を傳ふるも社會的騷動の漸迫期しき此際の相場は果して眞の相場に非

●**銑鐵天井不知** 月替り以後は秋季需要の始まれる爲め減切色めき來りたるも各製鐵所の生産の大部分は先約口に吸收せられ且つ外國品は輸入不可能にて賣物皆無の姿なるより關西市場は一躍に上放れ關東市場も五百五十圓と云ふ未曾有の突飛相場を現し**近く六百圓**を**現出すべき氣勢**なるが何分にも各製鐵所共豫定の産額に達せずして今日迄も先約を充分に果す能はざる狀態にあれば今後需要の増加と共に市況は殆ど天井知らずの暴騰を出現すべく目下輪西洗陽銑は何れも五百五十圓見當二號は五百七十圓再製銑は共に六百五十圓見當を唱へ居れりと

●**錫は品薄高** 本國新嘉坡に於て絶對輸出禁止となり本邦市場は**拂底**なるが爲め錫は在荷次第に品薄となり昨今大阪市價さへ地相場品騰せり市中相場は約**二三四圓方騰**貴して二百八十二圓を唱ふるに至り

●**金箔更に高調** 金箔は前にて當用注文頻々し内地氣配は日々引締れるが金箔類は地金拂底の折柄細工物盛況の爲め原料の供給困難にして止むなく製造中止する向も現はれ**漸次製造減退**せるより市況は日に上進を示し紙金四寸物一符に三圓乃至五圓方の騰貴を報じ金粉類も金箔同樣上進調を辿り其他の箔粉も氣强き成行なり

●**白米持合ひ** 原料白米市況別項の如き成行きにて市中も**眼先現狀の儘**に**傍觀**するの外なく此處中絶したる折柄に**頗る閑散**の景況を呈し居れり

●**群山正米下落** 十五日の群山正米市況は更に軟弱にて白米小賣値は前日より一錢安の三十九錢となり玄米は**二三十一圓二三十錢**にて**見當七八十錢方下落**せり

●**大麥低落す** 米價の暴落に連れ京日米潮安思ひの買進みに瀕臆を告げし大麥は米價の反落と同時に**買人一齊見送**りとなり相場は一時十一圓五十錢見當なりしもの**十圓二三十錢**を唱へられ居れるが商内殆ど行はれず

●**小麥も下落** 小麥も大麥と同樣正米氣配に壓されて**相場は一圓以上の安唱**へにて九圓見當なるが市況混沌の際買人なく一般傍觀しつゝあり

●**大豆下押す** 大豆は他の雜穀類の見送りと同じ模樣にて賣氣に壓され**約五十錢安**値より本龍山渡十八日近かくの唱へなり

下關相場

▲朝鮮米も不況 共後朝鮮白米九百叺の輸入ありしが大體に於て現品の如き在荷薄にもりて共後桁相場は何れも前日の如き一氣に下押しするより朝鮮一等白米の大々的暴落なるや人氣悲狀のおるより那那邊が昨午後の如き本月中物に賣戾し商談な試みたる結果途に一等白米四百叺許り三十七圓に手合せ行はれたるもの、如し午後本日は

本月物二百叺許り三十八圓五十錢に現品二百叺許りは四十圓丁度に手合せ行はれ跡秘密の裡に現品三十九圓處に出來せり
▲小豆は薄商内 共後北海産百二十五叺朝鮮牛小豆七十二叺等の廻着に過ぎずして別段賣り急ぎ物あらずと雖も何分米價の奔落に前途如何を案じ只管買人の手控へに依り共後見るべき商内行はれずして市、商内からず
▲大口は不況 共後新義州産三百七十八叺等の輸入に過ぎざるも何分過日來 窪味の奔騰を促したると共後米價の大々的暴落を演じたると同時に産地の如きも意外の奔落を傳ふるに至りたる拆月先き安見越しを以て兎角買人の商價は兇まざるに依り人氣頗る不況を極め水原宜川物取合せ二百叺は二十一圓に新義州物二十四百叺は二十圓に雄基產二百五十叺は十八圓十錢等に手合せ行はれたり
▲新大豆見不著 本日釜山港松屋商店より當地島幸商店へ宛て同地産の新夏物少しばかり發送し來りたるを一見するに天候良好なりしが品質乾燥共に至極良好にして近々廻着を見ゝならんと而して目下の見當相場は十九圓五六十錢處なり
▲朝鮮一等白米(現日) 四十圓
▲同(當月) 四十二三圓
▲同本月物(現日)三十八圓五十錢
▲水原大豆(現日) 二十一圓
▲宜川大豆(現日) 二十一圓
▲新義大豆(現日) 十八圓十錢
▲福山小豆 二十一圓七十錢

各地商況

◎木浦米況(十三日) 大阪市場も今や全く暗黑となつて商内出來ざる模樣あり當地にては一般需要家側多く滿腹せる故小賣屋側の買控へと此の際内地人の移出到底困難なる模樣ありて一般の拵へさにて昨日急落の跡を受けて本日は形勢混沌として捕捉し難く賣手は三等玄三十四圓見當を唱ふるも買手なく商内に至らず一般の手控へにて相場は先の此邊に一寸小康を得たるものゝ如く觀らる
▲籾 本日湖廻着無し最も公平なる相場として九圓見當を唱へられつゝあり

釜山物市場 十四日

▲玄米強保合 高値より十四圓崩落せし相場は目先き底突模樣と變化し内地正米の下落以上に下げ走りたると各産地相場比較的高値なれば一般に賣り控へ一方各精米は及び玄米移出口も直頭を鈍び買氣ある爲めに市況は稍々手堅く保合となり今市場にては午前中三千叺ばかりの取引行はれたり相場は玄米上三十一圓五十錢下三十圓五十錢見當なり

南大門廻穀

平澤玄米六五叺平澤白米五二叺仁川粟二五九袋仁川小麥三五叺天安白米七叺義州大麥三一叺鳥致院麥一二一新義州粟二五一新義州籾五二汗浦大豆二六叺仁川粟二五〇袋平和大麥六〇叺開城玄米二二六開城小麥五八叺水原米一四〇叺汗浦大豆五四叺汗浦大豆三六叺仁川西貢一二五袋開城玄米三三八叺

仁川正米

▲籾の入荷なし
▲正米界は各地暴落を報じたるより更に渾沌狀態となり加之今曉來の降雨にて商談行はれざるも氣配は各地安と相俟つて安人氣を唱へ居れり

仁川期米

十五日前場 (新規賣買停止)

▲第一節	中先共出來不申
▲第二節	中先共出來不申
▲第三節	中先共出來不申
▲第四節	中先共出來不申
▲第五節	中先共出來不申

▲兵庫發電東京臨時休會明日各地騷動さありたり
▲東京發電安い二十四圓見當本日臨時休會正米三、四圓安いさありたり

▲臨時增證徵收

定款第九十五條に依り左記臨時

市場雜觀

增證據金を徵收す
一九月限建米百石に就き金百圓
一十月限同 金百圓
但し納入期日は來る十九日午前十時限り
八月十五日

▲昨後場は前報せし如く解合談あるの場合なるか存外附け出し少なかりし兵庫發電は本日東京立會臨時休會なりと各地騷動と思ひたり之に依つて見れば各地の米暴動は未だ鎭定せざるものと思はれる又一方より考ふれば遂に東京にも米騷動の起りたるには非ざるなきやと推測して後日に戰せんのみ▲朝鮮米買占めの本野神戶の鈴木商店は神戶の米騷動に際し衆人怨嗟の焦點となり遂に燒打ちの厄に遭ひたり各地の米騷動も未だ鎭定せざる折東京市場は米價の暴落を惧じるに拘らず臨時休會は如何なる理由に依るか▲恐れ多くも陛下には窮民救濟の爲め三百萬金御下賜せられ政府又一千萬圓支出し之を救濟せんとするの時に際し米價の暴落を來したるは

米穀荷主 倉庫 漢城倉庫 電話 三五〇・六〇

民の爲め喜ぶべき現象である米價の下落は遂に國民の騷動を鎭定するに至らん▲仁川救濟會の安賣は既定の如く十四日正午より賣出し開始したるが時も時とて大盛況なる實況の始末成功裡に第一日を送つた引續き賣出しは成功するに相違ない之が爲め市中白米商も相當の安値に賣らざるべからず是則ち緩和策の最なるものなり▲昨十四日午前八時四十分東京發電今日延著し

見當は正米三二十四圓安

本日臨時休會なりし東京發電は當日臨時休會ありたり期米は遂に四圓安と報ぜしが殆ど總解合談起りつゝあり昨午前

解諸內更に行はずは是れより

必竟一般の人氣が總解合が豫期し居るものならん▲内地各地に於ける米騷動は益擴大し居れる米價は各地共大暴落を示したるより目先安心の體なるも内地の騷動に人氣昂奮し居る折柄何なる動機に依り珍事勃發せんも難し大に此場合最善の手段を講じ警戒せざるべからず
▲昨紙所報の如く本日午後より

仲買人總會を開き懇議解合談に就き

催し熟議するの事場合が場合丈市場の爲め圓滿の解決を望む天候は今曉、又々後雨となりし如く際雨抵の多き鮮は實に市分なく好順に經過し居れり▲本年の如く實に未曾有の米作の年柄なる丈年に天候の順な以て大豐作を見るに至らん事を熱望する外なし▲取引所は延米に對し到り次の如く十九日午前十時限り時臨證百石に付き百圓徵收する旨揭示した

中限は五百圓

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川海岸町三丁目 電話一二二、一四一 振替口座京城四〇一二番

敷先限は四百圓

となる譯である前場引太當買八百石五十六圓六十錢に(當限は買八百石)角で解商内附け出し右ればたり

▲堂島解合進捗

堂島の解合談は十三日午後堂島仲買組合は總合先着先仲解合及正米の逆落を傳へて解合問題を新たにせり取引所總合の協議せるが取方側は各地期米の鑑取所側より中川林樹長始め岡米爲替員七名の外に賣方側より取方側買方側と協定委員として選擇し十三日中に値段の決定を爲すことして値段の協議會に

移りし處暴動の一群騷定仲買人方を襲擊せりとの報に圓賣急遽中止せし爲め協議會は十四日午前九時に改めて開催することゝして散會せり而して十四日午後一時仲買總合を開き二十限立會の是非二十限の委註證據金制定三米價高に付き一萬圓支出の事を協議す可しと

仁川米豆取引所仲買人 圭 大五仲買店 店主 猪飼政次郎 營業案内 進呈 電話 長三〇九番 自宅六〇二三番

北濱たより

▲東株の手數料

東株仲買人は例の指定落し實施當時取引所側に對して手數料の改正を迫り取引所は指定落し實施後の成績を見るまで其の改正交渉を保留せるし其の後大體指定落しの實施の成績明白と爲れるより仲買人は又々九月より改正を迫れり即ち從來の現物に相當の比例は四割對六割にして指定の實施前は三割六分對六割四分に減少し同上實施後は更に一割七分減少せる結果夫々各其取引所側に徵收せらるゝ收入を增加し而も危險程度減少せるに反し仲買人は取引所は其の際手數料を增加するか又は委託手數料を減ずるか二途の孰れかに決すべく此の折衝注目すべし

▲大阪鐵工所 株

は頃日來より營業成績の良好及び增資進捗を材料として買はれつゝありしが本日は特に買方の買振り猛烈にして之に安値に資込みたるもたれきと現はれたれば大引の如きは譯もなく六十圓臺へと突進して十二日引値より十四圓十錢高といふ大飛躍を演じたのであるが買方は增資は前に確定したるものと思ひ居るもの、如くなるが增資は尙ほ多少の日子を要するとしても當期に於ける營業の成績は大の實相に由つて巧利を獲得し居れば配當の如き今期は五分以下なるべき之が一割五分乃至一割二分まで買上ぐれば二百五十圓の價値あり然るに目下六十圓の市價はらぼうなる割安にして而かも此期に進捗はあれども増資の運命なる同株は買ふの外なしとの氣勢に示し居れば同株は尚ほ前途一段の高價あらんかの形勢なり

叺 細莚 穀物鑛石海產物用 叺及荷造用莚各種 大田本町二丁目 箕浦商店 電話長五二番

白米小賣値

一等白米 三十九錢
二等白米 三十八錢五厘

白米標準値

三十八圓

青物小賣値

ホウレン草	一五〇
ナガイモ	二〇〇
シシキク	一五〇
ツクイモ	二〇〇
チサ	一五〇
トウガン	四〇〇
ナツパ	二五〇
ナンキン	三〇〇
ミツバ	一五〇
ニンジン	二五〇
カイワリ	三〇〇
ゴボウ	三五〇
トノイモ	一〇〇
ダイコン	五〇〇
ハスイモ	五〇〇
ナス	二五〇
コイモ	二〇〇
キウリ	二五〇
サヽギ	二五〇
子ギ	一五〇
フジマメ	六〇
タマチギ	二五〇
インゲンマメ	五、
バレイ	四五〇
ユリ子	三五〇
トマト	三〇〇
ショガ	一五〇
エダマメ	二五〇
ワケギ	二〇〇
タマナ	三〇〇
シンショガ	五〇
シロウリ	三〇〇
ハナマル	一五〇
ショガ	一

糊 賣買之家內進呈 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長六五 一六〇番

塚原卜傳 第百六十六席

悟道軒圓玉口演

塚原小太郎涙に暮て居りましたが此時官軌の手を執つて 小『不忠不孝とは以ての外、御身の孝心は天地の神も照覽ましまさん、前將軍義輝公の御落胤とあれば勝義初め此席に居並ぶ人々、誰か疎略に思ふべき、傷も深傷と云ふ程にあらざれば疾々養生を加へ、本復の上にて拙者より出世の途を取圖らひ申すべし、必ず弱き心を持ち給ふな』山名監物初め一同の人々も『小太郎殿の仰の如く我々こても同じ事誰か異心あるべきや』一時も早く醫療を加へ御本復を圖り奉らん』長一郎頭を掉り『長イヤイヤ拙者已に三歳にて早成ごやらんに刺殺され一命はとくに失ひし者十九歳の今日まで生延びしは偏に勇平寺の大上人に觀世音の移らせ給ひ、其慈悲愛懇の御手に依つて救はれしものと承知いたす、時東つては佛の滅度を免れず況んや人間の身として何ぞ無常の風を防ぎ得んや、官軌こそ大果報者叔父君は當將軍家に渡らせ給ひ、顯傳上人は一口叉こも縋りし御方、猶今は大善智識、父の仇と睨ひし人は日本隨一の劍客たる塚原勝義先生なり、武將織田信長公御臨席の能舞臺にて、師龜井新十郎殿より賜はつたる二字國俊の寶劍にて腹掻切つて相果つる果報のほどこそ嬉しけれ、いかに方々大切なる能舞臺を血潮に汚せし大罪は幾重にも許し候へ、叔父君なれご將軍家には恐れ多ければ何事も申さず、宜しなに御前を取做し給はれ、勝義殿に申置たきは龜井新十郎殿に若し御對面ありし時は官軌こそ御敎へに違はず、拜領の寶刀にて潔よく生害したりこお傳へ下さるやう、上人には後世の菩提逆緣ながら賴み奉る、さらば…』こばかり一聲を跡に、正る人々の手を拂つて一刀キリキリと引廻し、カツパと前へ伏て息絶わたるは實に勇ましき最期であります生年十九歳可惜名花を一朝の露と散らせしは殘念なる次第、將軍御涙を流し給へば信長も猛き心にも哀れを感じ、之れも袖を絞し給ふ一座の人々共に涙を流して其死を惜みました、時に將軍義昭公の御に『義兄義輝の落胤なれば予に取つては一人の甥、徒らに死なせたるは不憫の至りである、死骸は等持院へ葬り、足利一族の禮を以て厚く回向いたし遺はすやうにと』の上意、一同畏まつてお受けに及びまして茲で其れぞれ手配をいたしまする塚原卜傳にも涙を拂つて暇を告げ山科へこ戻られる、さて當日は齊花狼藉の有樣にてさしもの御殿能も滅茶々々になつて了ひましたが將軍も深く官軌の死を哀れみ御歸城に相成る、信長公も御家來を引連れて歸還いたし、悲しき一日は終りましたが、さて小太郎は深く悲しみ直に顯傳上人の跡を慕つて興雲寺へ到り、官軌の遺骸を懇ろにいたしました、官軌の死骸は等持院へ送りまして代々の將軍の墓に列べて別に一基の石を立てまして葬つたのは死後の榮之に過ぎず、本人の面目であります、之にて小太郎の身に掛る雲も晴れ完く青天白日を仰ぐの喜び、其名は海内に輝き渡り大打つ竜も其名を知らざる者なき有樣でございます、其年五月信長公、一旦近江を攻たる三好三黨の中岩成左通兵を集め、城州淀の城に籠立て、京師を窺ふとの注進を聞いて大に怒り柴田修理進勝家、佐久間右衛門尉信盛を大將として五千餘人を遣はしこを攻めんこ向ふ、時に細川兵部太輔藤孝、山名監物の兩人義昭公の命に依つて信長に掴み之れに加はり、岩成主税助を是非共討取つて前將軍の恨みを散じ奉らんとあつて二千餘騎を率ゐまして出陣する、此時塚原小太郎一吋の思出に其成を討取り呉れんと細川の人數に加はつて花々しく出陣をいたしました。

入院隨意 (診察夜九時迄) 皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍 皮徽科 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元工町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

品質本位 人蔘エキス チンキ 其他諸製劑 京城南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三二六番

書畫用 絖 絹 京染吳服商 たまや出張店 京城永樂町二 電話一二九六

四平街通信 滿鐵北方列車開通

六日既電の滿鐵線三箇所の破損箇所の中四平街以北は增水の爲め列車不通となりたるは滿鐵の徹夜的復舊工事に努力せし爲め四平街郭家店間は午前八時郭家店公主嶺間は午後五時修理竣工したるが郭家店十家堡間の如きは十七八尺の堤防に四十五度の傾斜を以てのしかゝりたる客車が恰うして止り居る等は人をして慄然たらしめたり若し一尺乘り出さんか客車は乘客其儘渦巻く濁流中に顚落し墜落して如何なる慘事を呈せしや計り難きに平安に到らざりしは天祐と謂ふ可し 一時危險視せられたる四鄭線三江口木橋の如きも流失朝夕に迫りたる如く噂され一時列車運轉を中止し徒歩連絡を採り來りたると共に藤根技師長始め當事者は不眠不休の努力を以て防止せし結果流水の減少と共に安全となり七日列車を運轉せしむる事となりたりと

○大正式製なわ機の好況 東京本所長崎町日本發明獎勵會發賣の同機は地方農會等よりの申込に忙殺されつゝありと同機は非常なる作業力有り今回京城に取次販賣する由

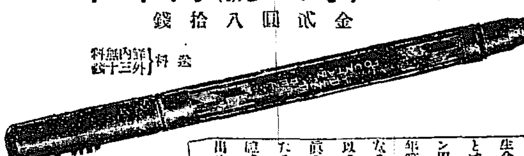
八月十七日 九星 舊七月十一日 丙申 本命七赤 西建大安

▲十赤 [illegible] ●八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible]

富の道しるべ 山縣九十雄著 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三〇一 京日代理部

男に限り進呈 青年も老人も生殖器衞生上必要の説明書をハガキ申込者に無代進呈す 東京本材木町三ノ二五 大阪市北區北森町二ノ一 京城本町二ノ七 東京新療法研究所 大阪新療法研究所 朝鮮新療法研究所

パイソン(學生號)萬年筆 (耐久五年以上) 金貳圓八拾錢 送料 鮮內無料 內地外三十錢 京城太平通電話構內 十八番 發賣元 京城日報代理部 振替京城三〇〇番 五年以上の生命を前提とするパイソン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも前の萬年筆たる事を立證する事が出來る



贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 內科 小兒科 入院隨意 每日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治

名實共に日本一 純國產 花屋のポートワイン カカオ シャンパン 規那葡萄酒 スパークリン キュラッソー シャートローズ テーヒッパーミント ペ子チクチン ベルモット ウヰスキー 白赤葡萄酒 葡萄酢 テーシー印
空前!!我洋酒界の記錄を突破し
規模、設備、品質、共に日本一
本社直營の大農園より採取せる佛國種の葡萄を以て佛國人技師の醸造せる我國唯一の舶來品以上の醇良品なり
釀造機の到着と第二工場の完成
製品の絶對完備を期し第二工場に裝置すべき最新式醸造機を佛國に注文せしに戰亂の爲め輸入困難を極めしも
國產獎勵に基く或筋の援助と盡力
により辛ふじて輸入し直ちに神奈川縣戶塚町なる第二工場に据付け工事中なれば八月下旬よりは上記各種の最も醇良なる製品を市場に供給するを得べし
洋酒界の覺醒期と我社の理想
此機會に於て我社が從來理想とせる絶對的輸入防遏海外輸出を實現し我洋酒界に一紀元を劃せん事を期す
蹶然!!東洋に雄飛せる最高權威者

日本郵船出帆

◎大連、天津行 相模丸 八月十八日 仁川發
×酒田丸 八月十八日 船客御斷
高砂丸 八月廿八日
仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀回漕部

尼崎汽船出帆

群山、木浦、釜山下關、大阪行
第二大湖丸 八月十四日後四時
第一大湖丸 八月二十日後四時
君が代丸 八月廿三日後四時
大有丸 八月十六日後四時
秀吉丸 八月十九日後四時
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告

天候船舶等ノ都合ニ依リ發着日時變更スル事アリ又各地支店及取扱店ニ於テ御承知被下度シ 之詳細ハ本社敦賀行浦潮行

▲平壤丸 八月十六日 元山經由
▲浦汐行(大阪發門司釜山元山城津清津) 平安丸 八月十四日 釜山發
▲雄基行(關門發各港經由) 入京畿丸 八月十六日 釜山發
▲忠清丸 八月十八日 元山發
▲元山雄基線(釜山發元山城津經由) 鏡城丸 八月十四日 元山發
▲大阪行 越後丸 八月十六日 元山發
▲長崎行 穩城丸 八月十八日 元山發
▲濟州島行 咸興丸 八月二十日 釜山發
▲金剛山遊覽 長崎丸 [illegible] 釜山發
▲釜山浦項線 江陵丸 每月 釜山發
▲濟州島行 西廻 公州丸 八月十九日 木浦發
▲東廻 咸興丸 八月十六日 木浦發
▲釜山麗水線 巨濟丸 每日 釜山發
▲木浦麗水線 順天丸 八月十六日 木浦發
▲海州行 八月十五日 仁川發
▲多島海行 公州丸 八月十四日 木浦發
▲木浦行 金海丸 八月廿三日 仁川發
▲海州行仁川發江華島 新江丸 南陽丸 每日一回 仁川海州發

大阪商船出帆

神戶、大阪行(仁川出帆)
△日清丸 八月廿一日 後五時出
群山大阪行
×安東丸 月 日 正午出
清津行(元山出帆)
安平丸 八月二十日 後十一時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
高島丸 八月十四日 後九時出
上海、北陸、打狗行(大連出帆)
湖北丸 八月十二日 前六時出
北陸丸 八月廿七日 後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 每月二回
南洋行 每月一回 南米行 每月二回
其他各船客ハ五分割引ヲ以テ連絡運輸
大阪商船株式會社 仁川支店 電話七〇番
京城取扱店 京城南大門通 電話二二六番

共同汽船出帆

大連直行(關東都督府命令船)
共同丸 八月十七日
河波井同汽船株式會社 電話一七三番

釜山出帆廣告

◎元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 七月 日後四時出
◎門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 七月 日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行 天眞丸 七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船渡 大池回漕部

朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運輸ノ便有
木浦南浦行 仁川發 江原丸 八月十五日頃 仁川發
青島行 仁川發各港經由 晉州丸 八月十八日 仁川發
本社 京城南大門通 電話一二九五 一三三
仁川港代理店 元山出張所 釜山支店
木浦港代理店 京城荷客取扱店 山野回漕部 其他各寄港地に荷客取扱店あり

汽車發着

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京釜連絡 京義線(北行) 同(南行) 京元線 京仁線(下り) 同(上り)

[illegible]

京城日報 第五版

……るもの、如く數量は不明なるも本年度上半期に於ては此内廿五萬石の移入ありたるを以て之を差引……數量は八十餘萬石に達し而して……の增加を示し七、八、九（三箇月）移入數量は合計四十萬石に上れり（東京）

……長崎（鈴木）氏の關西側の各代表者は十二日午後二時より東京海上ビルデング同會事務所に會合左記の……究し更に會合して決定すること……し第二項に付ては各會社に於て技術上の意見に基き原案を作成し……

……車故障の爲め二時間延着せるも同夜從連絡船は列車到着を待合せたる上九時半出港せり（釜山特電）

露國の戰時財政（七）

戰費の財源及其の調達方法（三）

凡そ紙幣の發行によりて戰費を支辨するは最も弊害ある方法なり元來貨幣なるものは物品交換の媒介物に過ぎず國家及び個人の貨物貸買上必要なる金額以上に存在するを許さゞるなり故に若し貨幣が一國金融上に必要なる金額以上に發行せらるゝに於ては徒らに流通貨幣の過多を來たし貨幣の價値は夫だけ低減し其の結果物價の昂騰を誘致し不用の濫費をなさしめ貨幣市場に恐るべき害毒を流すものなり詳言すれば紙幣の增發は物價を騰貴せしめ國民の生計を脅し勞銀の引上要求となり政府の經費を增加せしめ更に之に因り紙幣の濫發を喚起するの因果關係を生ずるものなり紙幣の增發は決して一塊のパン、一アルシンの織物、半足の靴をも生産すべきものにあらず通貨の膨脹は反つて各種物資に對する需要を增進し物資の減少を誘致するものにして特に現今の如き曠古の大戰に際し各種の生産力一般に減退せる秋に於ては特に有害なる結果を伴ふものなり過去に於ける各國の歴史は明かに之が事實を證するものにして彼の十八世紀末佛國に於ける紙幣濫發は其の最も顯著なる適例なり實に佛國の紙幣濫發は極端に紙幣の價値を減少し通貨價値の低減は貨幣の流通を攪亂し國家を窮地に陷らしめたり現時の戰爭も亦露國をして斯る狀態に到らしむるものにして一九一七年末迄に尚百二十億留乃至百五十億留の巨額の戰費を必要とするに於て露國は必ず公債募集の擧に出づべきも不幸にして公債の募集不可能に終らば勢ひ紙幣の增發に頼るの外なく其の結果益々露國財政の窮迫を大ならしむるに至るべきは論を俟たざるなり

財政と革命（一）

今次の戰爭の財政は著るしく露國の支出は露國の債務を增加し紙幣の增發を促進せるも更に露國の財政に根本的致命傷を與へたるは彼の革命騷亂なり革命は各官公廳、會社及び諸工場に於ける經費を增加し一方其の收入を減少せしめたり即ち政府の收入は革命によりて甚大なる打擊を蒙り革命當初三四箇月に於ける諸稅收入の如き極めて少額なりき之に反し各地方より國庫に對する經費の要求は革命後急激に增加し三月に於て既に相當の巨額に達し四月及び五月に至り漸次其の額を增加せり又工場に於ては革命によりて勞働者の氣勢頓に强固となり勞銀の引上を强要せる爲諸工場の經費增加し經濟困難を極むるに至り私立銀行公立銀行又は地方自治團體に對し其の運轉資金の融通を求めたるも是等諸機關亦革命の餘波を蒙り資金の缺乏を訴ふる折柄之が貸付には應ずる餘裕なく更に國庫に對し援助を乞ふの止むなき有樣なりき然れども國庫とて其窮狀は一層甚だしく到底他を救濟するの資力なく通常經費は革命の三月以後急劇に增加し地方新機關の設立費、民兵の新設費、地方裁判所の維持經費、恩給年金の增額、郵便電信費の不足填補及び鐵道經營費の膨脹其の他の支出及び填補に對し巨額の資金を必要とせり即ち教員の增俸に四千萬留を計上し郵便電信掛員の給料を倍加すると共に彼等に對する一時賜金一億五千萬留を準備し鐵道從事員に對する增給に五億四千萬留餘の年額を要求し兵卒に對する給額を改正して後方勤務には月五留前線勤務には七留五十哥として年に五億留餘の支出を計算し官吏の增俸及び彼等に對する一時賜金數千萬留を計上する等其の他の諸支出を合すれば到底一九一七年度の豫算四十億七千七百八十萬留を以て之に應じ得ざるは勿論にして少くとも五十四億留を要すべし斯の如く國庫の支出は通常支出のみにても既に多額を算するに加ふるに郵便電信及鐵道等官營事業の收入減少により一九一八年度の[illegible]結局七十八億留餘を下らざる[illegible]加に基くものなるも其の主たる原因は革命騷亂に起因する物價の騰貴、勞銀の昂騰及び新制に伴ふ新施設に對する巨額の支出に由るものなり即ち穀物、燃料、皮革、砂糖其の他官營專賣の施行は莫大なる資金を必要とし又私立鐵道會社の財政整理其の他に多額の資金を供給するの必要上國立銀行より支出せしめたる資金のみにても既に五六十億留を算し國庫の支出は一九一七年三月以來非常なる勢ひを以て增加したるが故なりされば新税、增税又は自由公債募集を行ひたれども到底支出の增進に追隨する能はず遂に革命政府は紙幣の濫發に依りて之が補填を計らざるを得ざるに至れり試みに國立銀行が開戰以來發行せる紙幣の毎月平均高を列記すれば左の如し（單位百萬留）

年　月	毎月平均紙幣發行高
一九一四年後半期	二一九
一九一五年	二二三
一九一六年	二九〇
一九一七年一月及二月	四二三
一九一七年三月乃至六月（革命當時）	七八八

獨紙の離間策

日米の西伯利出兵に關する獨逸及び瑞西新聞の論調左の如し

▲ミユンヘナー、ノイエストナハリスト紙曰く聯合國の干渉は露國を再び建設せんとする諸計畫を破壞し同時に聯合國に對する露國民の惡感を挑發し又右に依り聯合國が東部戰線を復活するは不可能也

▲クルニツヒ、フオルク、ツアイツング曰く露國及びその與國は再び恐怖手段を以て他國の内政に干渉せんとす彼等は希臘に試みたる陰謀を更に大規模に露國に行はんとするもの也

▲クロエツ、ツアイツング曰く露國は聯合國が離脱せる以來吾人の獲得せる利益は危險に陷れり過激派に對せる諸勢力は今や聯合國旗の下に集合せんとす獨逸當局は確乎行動を必要とする場合如何なる用意ありや

▲ノオイエ、チユーリツヒ、ツアイツング曰く聯合國の露國干渉は軍事以外に財政上の動機を有す英佛、日、米各國は債權者なり彼等は擔保として西伯利の大富源を握らんとす（ベルン發十二日）（某所着電東京）

兒童學の進歩（五）

於朝鮮教育研究會 高島平三郎氏講演

青年期に進むと知は思想的になり、情は情操的となり、意は意思的となる。即ち感覺期、表象期及び思想期の三段に精神の狀態が變化して行く。之を繪（略す）で示すと茲に石や材木や赤い土がある。即ち材料がある。之が感覺期である。そこで此の感覺期の子供を取扱ふ幼稚園の先生抔は假へば此の土瓶に就いて敎へるのに細かい説明は必要がない。土瓶と云ふ感念を與へればそれで充分である。併し學齡の子供に對しては形はどうである、色はどうである、中はどうである、と云ふ部分的にも敎へねばならぬ。表象期たる少年少女時代は丁度感覺期の材料で石燈籠を作つたり、柱を作つたり、瓦を作つたりする樣なものである。進んで思想期の青年時代になると、初めてオルガニゼーシヨン……系統的になつて瓦は瓦の場所に柱は柱の場所に石燈籠は石燈籠の場所に夫々きまりが附いて「こゝ」で始めて家が出來庭園が造られる

心性時期	青年期	少年少女期	幼兒期
知	思想	表象	感覺
情	情操	情緒	單情
意	意志	慾望	衝動

此の物の纏らんとする思想期の青年時代に於ては容易に主義信念が決まらぬので煩悶が起る。即ち煩悶は思想期に得て伴ない易いものである。精神狀態は前述ぶる如く大體三段に變遷するが、尚は解り易く之を説明すれば『感覺期＝何』表象期＝如何、思想期＝何故』即ち感覺期の幼兒期＝三歳から五六歳迄は頻りに彼は何ぞ之は何ぞと質く、でお母さんは問に應じて答へると其の通り信じて少しも疑はず悉く感心して聽いて居る。子供は大人の言ふ事を能く信用するものである、此の證明として私の處女作『心理新案』中に引いた例を申述べて見ると、東京上野公園の地續きに道灌山と云ふがある。或る時私は其處に遊びに行つた事がある、偶々四つ許りの女の子がお母さんに連れられて遊びに來て居たが、其子供が『お母さんあれは何』とお宮を指して質いた。お母さんは何んと答へるかと聞いて居ると『淺草に在るのと同じものよ』と敎へた。子供はフウーンと言乍ら『ぢやお西樣』『さうよ』と答へると、矢張フウーンと感心して聽いて居る實に面白い。此の時代に在りては唯感覺を滿足さしてやれば足りるのである。幼年期にはホワツトと云ふ問を始終發するものであるから、答へてやる方では、其れは如何になつて居るものであるの、斯う云ふものであるのと細かに説く必要なく、是は何、彼は何と明確に答へてやればよいので夫れ以上説明するのは却つて宜しくない。併し十四五歳の頃になると、必ず『如何』と云ふ問を發して來る。そこで答へる方でも其の問を滿足させる丈けの説明を與へてやらねばならぬ。即ち表象期に於ては『如何』と云ふ問を屢と發する。感覺の滿足で濟むのは精神狀態が幼稚であるが、更に進むと感覺の滿足丈ではいけない。夫より更に進み思想期の青年時代になると『何故』と云ふ態度で一切の事物に對する。斯の如く三段に發達するのであるが、之が其の儘科學と成るのであるから面白い。

朝鮮鑛泉狀況（二）

▲温陽温泉 忠南牙山郡の南部即ち温陽面温泉里にあり地勢東北に低く南西稍高し西方の一帶は新昌に向ひ土地高燥にして山水秀雅なり戸口内地人五十九戸（約二百人）鮮人多く宿屋、料理屋雜貨商等あり他は概して農家なり温泉場の設備は温陽温泉株式會社の經營に係り温泉館（宿屋）内に浴槽一箇所及び鮮人浴槽一箇所あり他に陸軍衛戍病院分院の浴場一箇所あり京釜線天安驛より三里十七町路幅四間平坦を極め自動車の便あり天安より自動車賃一圓七十錢とす鑛泉は無色透明にして晝夜滾々として盡きず泉質は弱鹽類泉にして温度攝氏三十八度乃至四十八度湧出の部位に依り同じからず一日の湧出量約三百五十石なり田原藥學博士の分析證明に依れば本泉は筋及び關節僂麻質斯、神經痛、半身不隨、婦人生殖器、慢性諸症、ヒステリー、慢性濕疹、腸病其の他の病に特効あり四時浴客絶ゆる時なく一年の浴客約八千、外人の來浴するもの尠からず

▲海雲臺温泉 慶南東萊郡南面佐里東松島即ち釜山港を距る東方約四里の海邊に在り西北部は萇山に囲繞せられ東南一帶は萬頃たる日本海に面し附近の風致頗る佳絶土地は概して平坦高燥中央を貫流し西南は海水浴に適し沿岸到る所魚介を産す内地人戸數二十八（約一百人）交通の便好く宿舍浴槽の設備、瓦斯電氣の供給等殆んど整備せり泉質は鹽類泉にして温度攝氏四十九度、一日約二百五十餘石を湧出す四時浴客絶ゆる間なく冬季及び夏季の盛浴期は最も盛況を極む浴客一年約五千餘人を算す

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 ▲郵税…… 廣告料金 …… 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 ……

童行線（五十五）

瀧閑村

十一時を打つても高山は歸らなかつた。

『お前たちはお休み。』と女中等を寢かせて靜子は獨りで起きてゐた。

八月でも朝鮮の夜は薄ら寒かつた、靜子は毛織物を着てゐた。裁縫も一切りになつたので、起つて書架から一冊抽出して來て、燈下に靜に繙いてゐた、それはダヌンチオの（死の勝利）の譯書だつた。

十二時を打つた。高山はまだ歸らない。

宗の内には人のある氣勢もせぬ位靜としてゐた。

朝鮮化學製紙は時々機械に故障を生じて豫定の工程に達しなかつたり、原料が豫想外に高かつたり、運賃が騰貴して而も思ふやうに荷が來なかつたりしたが、それでも景氣が好かつた。時局は紙價を逆つて内地出産の紙類をズン〳〵騰貴させた、都合よく此潮先に乘つた此會社は好景を以て目されると共に高山の地位も確乎になつた。

靜子はよく高山に事へた。併し靜子の美しさは人間界のそれよりも、寧ろ吉祥天女とか、辨財天女とか云ふ超人間界の女人の美しさに近かつた。蛇と結んだ口には犯し難いものがあつた、狎れ難いものがあつた。主婦として少しも批の打ち處は無いが、高山は妻として見るのには尊るしく窮屈であつた。趣味の少い高山は此窮屈に堪へなかつた、漸次隧道を感ずるやうになつた。隧道から脱れて、そして自由な放埒な巷に遊ぶことに依つて其家庭に於ける缺陷を滿たさうとするやうになつた。羽振の好い事や、羞當り代るもの無き其地位も、高山の心を驕らしめて、遂に彼を花柳の巷に誘つた。

其方面の女は招かなくても目に多くなつた。最初には左右を見返り乍ら窃と料理屋の門を潛つたが、次第に馴れると大手を振つて入るやうになつた。

藝妓にも馴染が出來る頃になると、酒の味も判つて來た、[illegible]を云ふやうにもなつた、我家に坐つてゐるよりは料理屋で寢轉んでゐる方が樂になつた。斯うなると家庭はいよ〳〵窮屈で堪らなくなつた、總務正しく送迎する靜子の顔を正視するに堪へなくなつた。朝鮮人の口が段々に蕃椒の刺戟に馴れて行く如くに、高山も刺戟に馴れて來た、馴れると普通の刺戟は刺戟にならぬから、新しい刺戟を求むるやうになつた。そして習慣的に家には足が落付かなくなつた。

何の相談、何の宴會――さう云ふ職務上缺く可からざる會合を言譯にした。靜子も最初はそれを事實と信じたが、間も無く高山の遊蕩を知つた、併しそんな素振も見せなかつた。

今夜も何とかの相談會と云つて家を出たのだつた。

寢る者は寢靜まつてしまつて、一家の中はいよ〳〵寂閑とした、自分の頁を繰る音が自分の耳に入る。

遠くで三味線らしい音がしたと思つたが、それ限り聞えなかつた。開けて置いた窓を通して庭の樹の間から夜氣が身を襲ふやうに感じて、靜子は思はず襟を掻き合せた。

『アト私は何時迄生きてゐるのだらう？』と心の中で訊いたものがある。

『生きてゐるのぢや無いぢや無いか。』と直心の中で答へたものがある。

生きてゐると思ふから死ぬ事などを考へるのだ、自分は嫁ぐ夜から生きた屍になつてるのぢや無いか、魂はモウ人に與へてしまつて無い骸のみを親の爲に高山に與へたのぢや無いか、――

靜子は我身を顧みて淋しく笑つた。

九月號 日本少年

富士登山記 受賞一千名 本號に發表

▲御殿場口撰手 有本芳水 ▲吉田口撰手 松山思水

特別附錄 懸賞獲物當て

◆軍艦河内を悼む ▲やくの話 飯塚博士

◆司令官を捕虜 ▲鰐を釣る 鳥井三鶴

◆壇の浦合戰記 ▲隱藝競べ 松山思水

兎と犬の驅競べ

一冊 十五錢 郵稅一錢

九月號 少女の友

新附錄 張交ぜ屏風 …繪を切りぬいてはると立派な美しい可愛らしい屏風が出來ます……屏風の裏地にも美しい秋草模樣が添へてあります

いとも悲しき片葉の芦物語 宇野浩二

▲白桔梗…水裏… ▲醫者と雷神…青花…

一冊 十五錢 郵稅一錢

東京日本橋 實業之日本社

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣 松室致閣下題字

京城地方法院所長 法學士 加古貞太郎先生序文

辯護士 朝鮮總督府事務官 小笠原寬先生序文

法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの 一目瞭然たるものにして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮清西歴の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戸數、道路里數、各道の廣袤交通、産物名稱舊跡温泉其他の概況を掲げ 本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者交通産業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

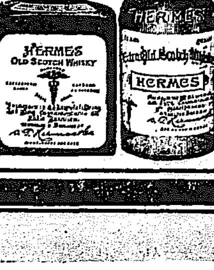
發賣所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 電話長六〇〇九番 構內十八番 京城日報社代理部

HERMES OLD SCOTCH WHISKY

世界の名酒 ヘルメスウヰスキー

永年貯藏熟成せる香りと口當りよき

ウイスキー飲むならヘルメスウイスキーを！



特製丸瓶角瓶の二種あり

代理店 大阪東區安土町 祭原伊太郎

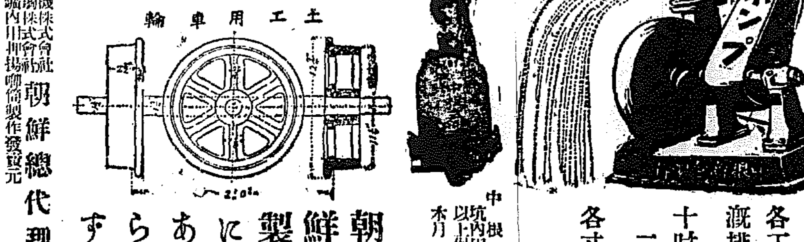
眼科專門 入院隨意

京城明治町東拓横（電話二〇四四番） 江頭眼科醫院 江頭富雄

日曜祭日午後二時迄

鑛山用虎印青紙八角鋼

チルド製 土工用車輪



各工事及灌漑排水用 十吋以下二吋迄 各寸共在庫

中根式坑内用排水五十尺以上保證 本月一日より一割値上

朝鮮製にあらず

昨年來内地專門家と契約中の處昨今續々入荷目下百三十圓御注文に應ず

東京機械株式會社 東亞製鋼株式會社 中根式鑛内用排水喞筒製作發賣元 朝鮮總代理店

○虎印八角鋼朝鮮發賣元

京城南大門外 電話二〇〇四番 中根商會

京城岡崎町 電話二一五六番 中根工場

實物の圖

K18本金張腕卷時計 本品は有名なる瑞西時計會社の特製品にして實物同形顔の優美高尚流行の魁たる新形にして成金時代の携帶用に最好適品殊に側はK18本金張刻印を打ち普通メツキ側等の一時的粗製品と異り實用と裝飾とを完備し非常に好評を博せり尚機械は最優等本傳二枚車付石入完全無缺にて進遲振止の變なし故に三十ケ年の責任保險證付

十三圓 にて提供し向ふ景品に本腕卷時計輸入披露の爲め特に御來店の方は速に御申越を乞ふ 實驗の上御購求あれ遠隔の方はハガキにて御申越次第前記保險證及添代金引換送料廿五錢にて送る 一現品廣告に相違の時は無料他品交換又は返金す

大阪南區高津野舟橋停留所前 振替口座大阪五〇一一番 常盤號時計商

◇駐露獨大使館移轉

莫斯科にある獨逸大使館はプスコフに移轉を命ぜられたり(倫敦特報)

◇獨露締結密約

倫敦タイムス紙はレニンが獨逸と締結せし密約を掲載せりレニンは此密約に因り獨逸に露國の發税品十億留を渡し且つ六十億留の償金を支拂ふ事とし其手段として露國の重要なる鑛山の採掘權を獨逸に讓渡する事とせり(ロイテル特電)

◇浦鹽派遣支兵北行

浦鹽派遣支那軍隊先發隊一行は十二日來奉滿鐵線に乘替へ北行したるが後續部隊は出征の準備成るを待つて出發す可し(奉天電報延着)

◇北露政府宣言

聯合國の西伯利干渉を歡迎す

北露政府は六日宣言を發し聯合國の西伯利干渉を歡迎し北露地方の防禦に對する援助と同時に政府に對する經濟的財政的援助を以て目しつゝあり(倫敦通信電報)

◇總統就職承諾條件

徐世昌氏の信認せる某氏は西南各省代表者に對し徐氏は左の三箇條を容れられずんば總統就職を承諾せざる可しと通達せり(上海特電)

(一)內爭を歇め外侮を防ぐ(二)財政を整理す(三)軍隊を撤し土匪を剿滅す

◇陸外交總長辭意

陸徴祥氏は外交總長辭任の意あり段總理は總統選舉結了迄是れを見合はす可き旨慰撫したり(上海特電)

◇戰爭中止請願

張敬堯氏は南北の戰爭を中止して人民を塗炭の苦より救はれ度しとの請願書を中央政府に傳達せり(北京電報)

◇ケープタウン領事館設置

ケープタウン(英領南阿聯邦)に帝國領事館は去る八日より開設せり(東京特電)

◇滿鐵米賣出

但し社員に限り

既報米價調節の爲め一般市民に賣出す可しと傳へられたる滿鐵調辨所の米は同社員に限る事となりたり(大連特電)

◇商品陳列館開期

哈爾賓商品陳列館は此の程漸く總ての準備成り館長森御蔭氏は十三日東京を出發したるが開館は九月中旬なりと(哈爾賓電報)

◇兩領事東上

新任入江濟南領事同小谷鐵嶺領事は外務省の召電に依り十五日夜行列車にて東上す可し(安東特電)

◎南滿特殊鑛物

神保博士談

東京帝國大學教授理學博士神保小虎氏は南滿及び朝鮮に於ける鑛物視察を了り此の程歸東したるが其の談に曰く

南滿に於いて先づ目に觸れたるものは食鹽の野積にて之のみにても空氣の乾燥を知る又元來樹木に乏しき山々が造林を以て稍綠色を增したるが如くなるも格別急斜に非ざる山側に岩石の大路川を多く示し廿數丁數十丁に續きたるものは

▲一見地質學の書物に接するある地質斷面圖の天然物に接する如き感あり特に堅固なる礫石を大多量に產し其の中には外國より供給を仰ぎ居れる粘土粉碎用の礫の代用になし得るものあり又海の如き平原に斷の如く堅き岩石が多く兀立する所あり一見して表土の淺きことを感ぜり蓋し滿洲の井戶には河筋の伏流を取る者の外豐富なる水量なく百間百五十間の深井を穿ちて地上に自噴する吹き井戶を得んとするは南滿の土地にては大概絕望の事なりと聞けり撫順滿に於ける珍らしき鑛產物は層狀の大鐵礦床にて之は目下製鐵所建築中の鞍山店地方にあり

▲赤鐵鑛に多少の磁鐵鑛と石英を混じ本溪湖のものに似たるものにして內地には全くその例を見ざる珍品なり撫順のオイルシエールも亦一の奇物なり目下滿鐵にて利用法調査中なるが此のイルシエールは熱して石油を取るの必要品にして日本內地には未だ其の如きものなし五湖嘴の耐火粘土は耐火の度極めて高く斯くの如き良品は此又內地になし尚大石橋地方に多き純白なる滑石も內地に於て見るを得ず滿鐵鑛業部地質課陳列所に陳列しある三葉蟲の化石は素人目を驚かすものにして之れは

▲ワラジ虫に似て非なるものなり大連より三時間位にて達する三十里堡停車場附近に多く產し採集に行くもの多し和尚屯の石綿は或珍らしき產出狀態にして此の狀態は日本に於て絕無なり元來石綿は日本に於ける必要なる鑛物なるも日本及び附近に大產地なきは遺憾なり又內地には幾許も苦土礦なき苦土質の著るしき產は殆ど之無く苦土質の著るしき石灰岩には乏しく製鐵所にては出來僅に豐前と豐後の白雲石を以て滿足したるが南滿にては却てセメント製造に必要なる非苦土質石灰岩に乏しきは奇といふべし以上は予の見たる南滿鑛產物の

▲珍らしきもの にて尚滿鮮に於て此上に色々の固有の珍らしき鑛產物を發見し得べく此等の鑛產物發見さるれば大ひに鑛產を增加すべしと思ふ唯今日之が調査に從事しつゝある技師の定員は遺憾とするところなり猶は朝鮮に於ける奇品に就ては他日發表の機會あるべし

◎府稅徵收狀況

第一期 大正七年度第一期京城府稅本月九[illegible]

人に就き極力納入方を督促し尚未納の曉は斷然滯納處分を爲すべ[illegible]示せり

一定期に對し一千六百五十三圓の未納額あり卽ち此の未納步合一割四步を[illegible]

◎客月貿易趨勢

既報の如く七月中の貿易額は輸移出一千百三十六萬餘圓輸移入一千百七十七萬餘圓合計二千三百十三萬餘圓にして前年同月に比し輸移出二百五十六萬餘圓輸移入三百七十二萬餘圓なるが今之れが內容に就き前年同月と比較するに輸移出貿易に於ては鑛產品の出荷概して不振にして重石鐵十四萬餘圓黑鉛十七萬餘圓金銀粗銅十萬餘圓を減し其の他人蔘の九十六萬餘圓皮革製品の●●●●●●●●

▲九萬餘圓等減少の著しきものありしに拘らず米は輸出向不況なりしに反し內地市場は漸く米の稀薄に伴ない氣配益々硬調を呈せしに因り鮮米の吸收盛況を極めたること一面調節米の出荷ありたる等の事情より差引數量七萬一千餘石價額二百三十九萬圓を激增し其他兼二浦製鐵所の事業開始により本月に於て始めて銑鐵四十五萬餘圓の移出を計上したるのみならず引續き魚類二十三萬餘圓棉花十二萬餘圓鐵鑛七萬餘圓貴八萬餘圓牛九萬餘圓を增加したるを以て結局前記の增進を示せり輸移入貿易に於ては引續き

▲事業用品たる諸器械及び石炭の入荷盛況を呈し前者八十四萬餘圓後者五十八萬餘圓を激增せるのみならず久しく不況裡にありし支那麻布は前月末地方取引の順調に連れ在荷捌底を告げたる結果輸入を促進せし爲五十萬餘圓の入增を示し其他紙類に十四萬餘圓砂糖及び織物に各五萬餘圓を增加したるが之に反し綿布類の輸移入は生金巾獨及び日本木綿に僅少の增加を示せる外概して不振にして晒金巾三十萬餘圓綿縮子五萬餘圓を減少し其他米に十五萬餘圓叺繩及び筵に六萬餘圓の減退を示せ

◎京仁水道聯絡

工事竣成期

京城水道は本年度に於て仁川水道と聯絡し鷺梁津水源地と京城水道との連絡工事を完成し京城に於ける給水能力の不足を補給すべきことは既記の如くなるが右は既に總督府の專屬工事として先般來より本工事に着手されつゝあるが案外難工事にして豫定の如く進捗せず多分九月に入りて竣工を見るべきが該工事竣成の上は一應通水狀態を試驗し其の水量如何によつて始めて目下の水道給水制限の解除如何を決すべく卽ち工事竣成迄は給水制限の解除は望み難かるべし而して目下給水制限時間中は仁川水道水源地より一日平均十萬立方尺餘の給水を受け之れを京城迄通水し居れるが低地に在りては水の壓力による事なく常に通水し居れるも比較的高地に至れば相當の水壓を必要とする結果殆んど通水を見ざる有樣なり昨今の如く降雨多量の折りなれば市民の使用水量幾分減退し給水制限時間內に仁川水道より補給せし水量の幾分は埋設鐵管內に殘存し居るを以て水道給水開始の時間と殆んど大差なく全部通水し得るも日々通水の時間は全く市民使用水量の多寡に據つて多少の遲速あるを免れずと當局は語れり

◎內地行滯貨狀況

十日現在朝鮮線內に於ける連絡待物輸送狀況並に滯貨狀況を聞くに左の如し

▲在荷數量

(イ)當局線內各驛滯貨	本州積輸生以東行	下關及九州揉行
三月中申込のもの	二五二	〇
四月中同	一、九六四	〇
五月中同	二、八〇四	〇
六月中同	三、四二九	〇
七月中同	一、九四九	二九
八月中同	二八六	四四二
計	一〇、六八四(彥根以西七〇三)	四七一
(ロ)釜山棧橋滯貨	二二〇五	六〇三
(ハ)局線內輸送中のもの	一、四五一	〇
合計	一四、三四〇	一、〇七四

卽ち六箇月越となれる三月申込みの滯貨ある譯なり又關釜間及び山陽線輸送力は本州行き米原以東に於て鮮滿發のもの二百五十噸釜山地發のもの五十噸にして彥根以西に於ては鮮滿發のもの二百四十噸釜山地發のもの四十噸にて計六百噸なり尚九州行きに於ては鮮滿發のもの百六十噸釜山地發のもの四十噸にて計二百噸なり而して當局線發送に對する制限は車扱ひ承認車數本州行き毎日十五車九州行き同四車にして一驛一日の發送噸數は二噸(米大豆を除き)にて斤扱ひ貨物には制限を附せずと

◎鮮銀券稍縮小

十四日の朝鮮銀行券發行高は六千八百八十七萬圓にして十二日の發行高に比し約四十五萬圓の減少を來せるがコハ國庫方面の回收並に米價低落傾向による影響なるべし

◎殖銀の割當株

現殖銀株主に對する殖產銀行新株の割當て分は十五日までに各株主より殖銀本支店出張所に株券提示申込みを要する事となり居れるが十五日殖銀事務所に達せしものは割當株數の約九割にて尚は未達のもの一割(新舊株數約一萬株あり)之等の內大部分は秦より十五日まで殖銀本支店に提出せしなるべし此の事なれど僻陬地の居住者中或は失念若くば手續き不案內のため株券提出を怠る者あるやも圖り難しそれらの株は月末までに競賣に附し賣却金は本人に送致すべしと

◎京電値上問題

近く却下か

京城電氣會社より遞信局に申請中なる同社經營京城仁川鎭海各地の電燈並に電力料金の約二割引上は當局にて審議を盡せし結果局議決定せしを以て近く會社に指令を與ふる筈なるが仄聞する所によれば本社の方針せし如く京電現行の料金は高率に失せる事並に値上を行はざれば會社の內狀困難を來すしその配當率の維持問題なりとの口實は却下の運命に遭遇すべしと

◎朝鮮在米調查(二)

及び新米出廻迄の過不足見込量

日本社に對する各郡の回答

▲延白郡(黃海) 在米約一萬三千百九十六石搬出すべき見込高約千石新米出廻期迄不足無し

▲鐵山郡(全北) 在米自家食料分を除いて千五百六十石新米出廻りの期迄不足なし

▲淳昌郡(全北) 在米一萬三千石新米出廻期迄の剩餘高二百六十六石の見込

▲務安郡(全南) 在米約五千石新米出廻期迄の不足約千五百石

▲价川郡(平南) 在米千五百石新米出廻期迄不足なし

▲信川郡(黃海) 在米一萬五千石新米出廻期迄剩餘四千石の見込

▲平康郡(江原) 在米七百八十三石五斗新米出廻期迄三百九十一石七斗五升不足の見込

▲安州郡(平南) 在米二萬石新米出廻期迄過不足なき見込

▲長淵郡(黃海) 在米千八百石新米出廻期迄は在米を以てせば剩餘ある見込なるも買込人の入込あるを以て豫測し難し

▲仁川府(京畿) 在米五萬三千六百石但し殆は安米に換算新米出廻期迄不足なし

▲陰城郡(忠北) 在米千五百石新米出廻期八月下旬迄剩餘五百石

▲槐山郡(忠北) 在米一萬八千四百石新米出廻期迄過不足なし

▲大邱府(慶北) 在米三萬八千石新米出廻期迄不足なし

▲茂朱郡(全北) 在米無し新米出廻期迄不足六百石の見込

▲牙山郡(忠南) 在米五千石新米出廻期迄過不足無し

[illegible]扱一等十一叺二等三百七十五叺三等一萬五千四百八十四叺不合格[illegible]

[illegible]の激增を見たるが道は七月下旬[illegible]に入り米價著るしき暴騰を告げた[illegible]

◎別府土地募株

資本金百五十萬圓を以て別府溫泉に土地信託を行はんとする別府土地信託會社は三萬株中五千株を十七日より二十日まで公募する事となりしが京城にては十八銀行支店並に京城銀行に取扱ふ由

◎平壤陸軍米購入

平壤陸軍倉庫出張所にては精米一石を三十八圓十五錢にて購入する事となり納期を本月三十日として二百石購入の契約をなせりと

◎伊藤中將入京

海軍技術本部長海軍中將伊藤乙次郎氏は造兵監督官塚本直氏と共に十五日夜入京朝鮮ホテルへ投宿す

◎大阪より

▲凍豆腐好調 凍り豆腐は原料上價高等にて新物出盛り期を安値とし雨後一本調子に相場騰し中形千切に付一時十圓を拔きしも流石に跡反動を喚び八圓迄引落せしが昨今入荷買物ありて忽ち高値を拔き三十錢と氣強く商ひ居れり

▲石炭相場强調 三等炭の相場は一二等炭に比し引締り微々たれども一二等は若松に於ける貯炭三十萬噸內外にして需要期の三分の一にも充たざる僅少なると擴張乃至新設工場の操業を開始するもの多き結果上等炭の需要を喚起し例年閑散期に屬する夏期に於て珍らしくも强調の成行を招致するに至りたるが目下の經過よりすれば先高の成行を演ずるより他なき狀態にあり

▲柳行李下押 柳行李は原料柳の夏季收穫時期に向ひたると舊荷拂近き地方手持品の賣放ち多きため前月末に比し一般に五分方の低落を告げたるが輸出內地兩方面とも商行は依然變らざるを以て來月に入らば反復引返すものと見らるゝ尙前年に比すれば需用は增加せるも一方生產力も增加せるを以て需給關係は均衡を得居れり

▲コール漸落 金融界は此の頃小緩みコール翌日拂九厘五毛乃至一錢無條件一錢一厘と前日に比し五毛乃至一厘方低落したるがこは前月末の酒造稅の移納行はれたる爲地方への資金が漸く回收されたると國庫資行切迫につれて臺銀行が政府より資金の融通を受けて市中コール吸收を手控へたるに依るものにして市中遊金增加の傾向著るしきを以て目先尙ほ緩和さるべきか

▲諸油商況 荏油市況は在荷の稀薄なるは生產地市場とも逼し居れるは事實にして最近原料高は製油高氣を呼び一箇二十九圓を唱へ從々高進みの步調を辿り上げ進まん商狀にして胡麻油も原料不足に加へて內地需用筋の大數掛けに値昂騰にて二十四圓の高走りを演じて然も品薄は二十七八圓を豫想せしめ居りて賣物皆無の有樣なり。白絞油は市場二十三圓より二十五圓十錢に急騰し二十五圓門は早くも突破され前代未聞の高値を現出せるが關西方面の大消費力は愈々品薄の聲を高め來りたれば此先如何なる値高を現はすや豫測すべからざるものあり。

▲小麥粉暴落 小麥粉は連日騰を續けて百合印現物六圓十五錢に迄非常の高値を拔きたるも地方筋は米價低落の徵あると共に値惚れに漸く商進むに至りたるより流石强硬なりし相場も支ふるに由なく五圓五六十錢に暴落を告げたるが前途米價の低落著るしきに及ばば今一段の下押しを呈するならんと(大阪支局)

[illegible]買約定屆出の受理を臨時休止す[illegible]以て買占を防ぐ事(二)實際の取[illegible]所を設け差金の授受を爲す條項を設け急々來る十五日より開始する[illegible]る絕對の權力あるものなければ今[illegible]押受するに就いては之れを主眼す[illegible]

人事消息

▲久田的二郎氏(大邱憲兵分隊長憲兵中尉) 十五日夜入京旧本へ

▲東京市會議員一行 十五日巴城館へ宿せり

▲副島少佐 十五日夜來京

南山若竹晩興 江南

西湖雨過送驕陽。泉石陳醸獨野航。誰荷晩風吹玉笛。梧桐新月一痕涼。

鳥瞰雜俎

浦鹽には日本と米國の赤十字救護班が殆ど競爭的にチェック軍の傷病兵を治療して居る▲日本の方は醫院も看護婦も治療材料も豐富で萬事理想通りに順序能く手が行き屆く▲米國の方は醫員も看護婦も治療材料も不足勝ちであるから思ふ樣に手が廻り兼る▲其處で患者は日本側は主に重傷者米國側は輕傷者を取扱ふ事に申合せをした▲だから米國救護班の厄介になるのは概して輕傷者丈けで從つて全癒も早いから戰線に歸つて行くのも早い▲日本救護班の方になると患者が全快するにも中々暇が掛る▲處から米國救護班の方では『御覽なさい米國赤十字の治療は此の通り全快が早い』と所々に觸れ廻つて居るとか▲所謂之が米國式を遺憾無く發揮したものだとか云ふが相變らずナアと某氏は妙な笑ひを見せて居た▲浦鹽や哈爾賓邊では此頃露人間に姓名判斷が大流行▲セミョノフ軍などは今は悲境に陷つて居るが軈ては優曇華の花咲く時が來るさ大に期待されて居るが之れも姓名判斷のお蔭であるとか▲何故かと云ふとセミョノフと云ふ字はセミャーと云ふ言葉と能く似て居る▲セミャーは家族と云ふ意味だからセミョノフ軍は繁殖軍と云ふ意味にも解せらるゝが繁殖と云ふ意味になるから緣起が好く善い名前だと云ふので義勇兵の志願者なども急に殖ゑたとの事▲日本の周易判斷もチト西伯利に押しかけては如何大分儲かりますぞ

[illegible]買新棉取引は(一)綿種の增加を[illegible]

購買入札

煙草原料用紙四十五萬枚外一點 右購買入札ス詳細ハ大正七年八月十六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

不動產賣却公告

黃金町二丁目南大門通二丁目明治町一丁目所在 土地五千参百四坪(但數十區ニ分割ス)右賣却スルニ付希望ノ者ハ李王職會計課ニ就キ入札人心得書契約書案及圖面等閲覽ノ上來ル九月一日午後一時限リ入札書ヲ同課ヘ差出サルヘシ 即時開札ス

大正七年八月 日 李王職

赴任の際は降雨の砌り態々御見送に預り難有奉存候茲に謹く御禮申上候

八月十六日 岡本功 同 清子

(簡易)職業 器具貸與で近男女共自宅で出來る優美な仕事 無休業日收一圓半位詳細郵七錢要(特約店募集)東京本所區向院正門前 一葉總本店

各種石鹸 製造元 京城元町一丁目 生田組石鹸工場(電話龍山一二六番)

一人五反安樂稻扱

廣告の爲貸附 代金ハ使用後二年割拂 特約店募集特典種々 圖入營業案內進呈〇製繩機も貸附 大阪大正橋西詰 帝農商社

京日案內 普通 一回前金 七拾錢 番外 一回前金 ●讀者店 諸君につき有利なる有權製造販賣(至急)(姓名在社)

店員入用 十歲より十六歲迄の者二名傭入たし希望の者は本人來談のこと 京城南米倉町 京城製油所

有給社員招聘 希望者は履歷書携帶午後四五時頃來談 京城櫻井町二ノ一七〇 內外證券朝鮮支部

年金恩給 低利長期即時立替 利息前引なし 四年半迄保險不要 京城永樂町一 表門前下角 江州屋本店

ほねつぎ うちみくじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

乳母入用 年齡二十歲以上三十歲まで本人來談ありたし 櫻井町一丁目 電話五七〇 新田

給仕採用 年齡十五六歲高等小學卒業程度希望者は履歷書携帶本人來談 市內に保證人を要す 第一銀行 京城支店

秋播蔬菜球根 大阪天滿市場 株式會社大正園 目錄進呈

かぜに良し ねつに又よし ヘブリン丸 ハカリ印を忘れ給ふな ハカリ印 定價金十錢以上 家庭用金五十錢 當園

最新刊 ● 著名 定價

家庭園藝十二ヶ月 千葉帥香著 定價九十五錢

生物界と人生 文明協會 一八〇 / 印象記 綱川白村 一五〇 / 書翰文軌範及文例 坪內佐々木 八五

ダリアとバラの作り方

新乙を中心に 赤木桂堂 一二〇 / 藝妓哲學 高木研園 一〇〇 / ナポレオン 長嶋風柳 一〇〇 / 朝顏栽培秘訣 / 珍法規全書 光岡 一八〇

大阪屋號 京城本町 電話六四〇番 振替京城二五七三番

新型式 耐水調革

朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行 新田帶革 京城南大門外 白神洋行支店 (定價表申込次第送呈)

新田式 バラタ調帶

月收五十圓以上二百圓內外 本道下代理店支配人招聘 日用必需品の廉價供給機關として各方面より多大なる好評を以て迎へられつゝある本組合は本道下各地に本組合が供給しつゝある半値內外の優良日用雜貨供給特約專賣店の設置活動上資産を有する希望の方は申込次第詳報す 東京本郷湯島六丁目十五番地 日用雜貨製造組合 法人組織 振替東京三八〇四九番(返信料〇記券封入)

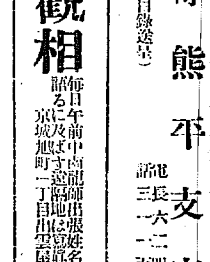
周易家相 岡村介石 醫者の能は病の治癒に在り 易者の能は占の的中に在り 明治町二

堅牢にして尙外觀に曲線美を有する我竹內ベント金庫は東洋金庫界の權威なり 京城本町 熊平支店 電話長三六一・一二九・五四番 (御申越次第詳細目錄進呈)

男女 一代觀相 毎日午前中南山韓福田出張姓名年齡を語るに及ばず適ト斷定 京城旭町一丁目出雲屋方

神經衰弱特効 ユーキリン 本品ハ營養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、營養不良 結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス 本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士創製ノ吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ 粉末 二五瓦入 金七拾五錢 錠劑 百錠入 金八拾錢 說明書進呈ス 各地有名藥店ニテ販賣ス 東京室町 三共株式會社

銘酒 金銀菊正宗 楠正宗



特約店 釜山 三巴京城支店 電話八五〇三〇二番

未曾有の活動寫眞は漸にして第二回の公開に遷れり 感動的大冒險大活劇 第二回 秘密の王國 全十五編三十二卷の內三、四卷上場 經緯三萬五千哩全地球を舞臺として一國の興廢存亡を語る、見よ燦然として輝々斯界の怪明星!興趣橫溢、凉味清爽 ◎新派悲劇 霜夜の月 四卷 ◎舊劇 薄雪物語 三卷 十六日より公開 大正館

讀者文藝 課題及び募集規定

一、募集規定 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚に細書又は匿名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

…納入濟額八萬四千三百二十六圓差引未納額九千八百七十四圓にして前年同期に比し頗る好成績なるも尙一割一分四厘の滯納あり近く督…
…に對する未納步合一割一步三厘なり
▲營業稅 調定額五萬七千七百六十三圓に對する未納稅額五千百八十五圓を算せり即ち未納步合九步を算せり
▲雜種稅 一萬一千七百九十三圓の調…
…り此の未納步合平均一割一分…なり

群山

▲客月檢米 群山所在全羅北道穀物檢査所管內七月中の檢米成績を聞くに群山本所取…三千五百四十一叺なるが檢査成績は前月に比し七百九十五叺を增し昨年同月に比し一萬八千百零九叺…

◎孟買新綿取引

…延期買屆出受理休止を解除したり…は一箇月又は二箇月としブアー…實施も疑問とせられつゝあり又例年に比し紬種雜多なるだけ差金を…

◎軍刀を獻上 刀劍會依囑 名工の謹製

◇刃元に上り龍下り龍を彫つた◇

頭に宮內省御用係後備陸軍少將…氏、役員に寺內首相、田中光顯伯、金子子爵等を有する刀劍會は今回森岡正吉、月山貞勝、笠間繁繼の三刀劍鍛冶に依囑し刃元に上り龍、下り龍を彫つた二尺一寸三分の軍刀三口を★鍛へ之れを天皇陛下に獻上する事に決定した、それで森岡氏は十日午前七時から小石川戶崎町の自宅鍛冶工場に於て齋戒沐浴の上鍛製に取掛ることになつた 氏は語る『刀劍會は明治三十三年谷干城中將が會頭で創設され斯界の專門工を保護し又は養成するのが目的でした、同三十八年には★先帝陛下より工人養成費として毎年金一千圓宛十箇年間即ち金一萬圓の御內帑金を御下賜下さることになつたのです、それで會では引續き數名の鍛冶、研師を養成致して居ますが私は第一回の恩賜金給費生として大阪の月山の許に入門し四箇年間給費を與へられました、獻上の御軍刀は太刀同用のもので刃元の兩面に★寶珠を呑まうとしてゐる長さ五寸の上り龍下り龍を彫り鞘に納めて獻上するのですが製作には三箇月を要します、何にしても無上の光榮に恐懼して居ります』と(東京)

◎穴藏に居る白國民

◇淚をのんで祖國を去つた人々は 植民地で獨逸に復讎

白耳義國領事館の報告に依れば獨逸の手に占領されざる自由の白耳義國面積は西部フランドルの二郡即ちフュルヌ、ディクスミュード郡及びイープル郡に跨る町村數六十に過ぎぬ狹小の一地域であるが而も是等の町村は悉く◇獨軍巨彈の 著彈距離內に在るのだから此の地域內に居住する事は殆ど不可能と見做して差支ないのだが祖國を愛する國民は右境土內の何處にも住んでゐる、又見るも無慚な町村でも住民は退去を欲せず穴藏の中に住まつてゐる、昨年十一月十五日現在の住民數は七萬二千二百三十五人であつて去る四月フランドルにて演出されし…れ悲劇に演ぜられてゐる◇戰鬪の結果 度々住民に對し撤退命令が發せられ凡百手段にて脅威せられるので數千の住民は泣の淚で墳墓の地を立ち去つた先祖代々住み慣れた祖國を無慚にも敵のために蹂躙されてゐる白國の運命の悲哀なことは云ふ迄もないが國は敵手に委せても人は愛國の熱火に燃てゐる同國としては必ずしも◇悲觀の要は 無い本國に於ける七百八十萬の人口は諸所に分散してゐるが一方阿弗利加に於ける白國の植民地公果の面積は二百三十六萬五千平方基米突即ち本土面積の八十倍に相當し人口は千五百萬乃至二千萬もある、其他和蘭領土內に於けるアントワープ州の北に位置するバアルル公領地には千二三百名の人口がある而も◇白國軍隊は 東部アフリカに於ける獨逸植民地二萬平方基米突以上を占領し尙英軍と協力し遂に獨逸の殘存勢力を全然驅逐して了つた而して目下白國が關係國間の協議により白國の占領地と決定されてゐる東アフリカに於ける獨逸植民地の占領地域はタンガイカ及びキヴ兩湖を除いても十四萬平方基米突あることは白國人の大いに意を强うする所であると

★最近の李王世子殿下

◎外國人との結婚を禁ず

支那政府公報にて

◇海外留學生に 海外留學生の外國人と結婚するを禁止し

四日附政府公報を以て支那政府は官費留學生にして外國人と結婚せば學費を停止し留學生にして外國人との結婚許可書を役所に請求する時は却下する由(北京特電)

◎五十石を施與す

大池氏の義擧

釜山大池忠助氏は貧民救助の爲め白米五十石を施與したき旨府廳及び警察に申出でしより府廳、警察にては協議を爲し同氏の厚志の白米を受納し窮民に施與する事に決し夫れを以て十六日釜山幼稚園校庭にて頒布する由なり(釜山特電)

◎大連の義金

は外米輸入の運賃に充つ 河村氏の寄附

大連淡路町…河村統治氏は內地に於ける細民暴動の報を聞き滿洲日々新聞社に金一千圓を提供し米價調節の一方法として用ひられたしと申出でたり、大連には細民と稱する部類なきを以て滿日にては該義捐金を運賃に充て關東米を輸入し機に應じ野菜其他を合せ廉賣す可しと(大連特電)

◎又增給要求

‖東亞煙草工場‖ 無事に治まる

十四日朝東亞煙草會社工場職工等賃金値上げの要求をなせしが鍾路警察署にても說諭を加へしかば何等不穩の擧動なく當分の間幼年職工に一日二錢成年職工に同じく四錢の臨時手當を支給することとなりて無事解決せり

◎文祿役の木炭か

全南麗水姑蘇臺跡から發掘

全南麗水郡にては同地姑蘇臺跡に琴平神社を建立する事となり數日前より土工に着手地盤作業の爲め地下三尺餘を掘返し居たる所多量の木炭を發掘し目下一話柄となれるが古老の言を聞くに『琴平神社境內として選定されし姑蘇臺附近は文祿の役…百年位前築城ありし由にて軍備の必要上木炭及び食鹽を土中に埋沒したる由を聞けり多分其軍用木炭が掘り返されたるものなるべし』と云ひ未だ全部發掘に至らざるも約二百貫の多量なるべしと想像され炭質は極めて優良なりと

◎輕擧を愼め

當局は極力救濟に努力してゐる 謠言浮說に迷ふな ‖小牟田本町警察署長談‖

米穀の暴騰が生活難を誘致し其の結果は賃銀增收の運動となつて京城では近來此の運動騷ぎが方々に勃發して居るが此れに就き本町警察署長小牟田警視は語る『警察では常に民心の動搖を視察し同時に▽米價の狂騰 に伴ふ奸商の不正手段の如きは狹くに嚴重なる注意を拂つてゐるが一方其の暴騰を抑壓することや一般細民の救濟にも努力の決心で近く京城府が主となつて施米や廉賣を企て早速實行に着手することになつてゐるから此の際一般市民中謠言浮說等に迷ひ▽無謀な行爲 に及ぶが如き輕擧な人々は無き事と信ずるも徒らに米騷ぎに躁られて浮き立つたり或は不穩な煽動的の說などに迷はぬやうに愼重の態度で居ることが肝要である』と

十五日朝市內の各所に▽不穩な文字 を書きたる貼紙をなして人心を煽動せんと企てたる不敵の曲者あり各官憲にては頗る嚴密なる搜査に着手したるが近く犯人逮捕さるべき模樣也

◎今明日中は雨か

西北鮮は一層甚だしからむ

十五日朝來の豪雨に就京城測候所員は語つて曰く同朝南島神合に七百五十六粍の低氣壓現はれし爲め西鮮は一帶に强雨を見たるが低氣壓の中心は黃海中部に移ると共に雨は益々猛烈となれり其最も激しかりしは午後四時前後にして天地俄に晦暝を覗むるよと見る間もなく龜盆の豪雨沛然として篠つく如きばかりの光景を呈せしが雨量は目下調査中にて判明せず尙右の低氣壓は進行頗る遲々たれば今明日中は依然雨を見るべく殊に西北鮮は一層甚だしからむべし(十五日午後四時)

◎救助方法愈決定

細民救助と米の廉賣 十七日午前八時より實行

京城府尹は本町警察署長、鍾路警察署長、龍山警察分署長、京城商業會議所副會頭及び朝鮮新聞社長、京城日報社長の來會を求め府尹室に於て米價昂騰に關する救濟方法に就き協議する處あり、京城に救濟會を設立するの件、救濟會の事業に關する件、救助は…家の寄附に係る米七十石、粟七十石を以てこに充當する件等を決定せるが府尹は更に十五日諸般の協議を遂げし結果之れが救助の方法其他に關する具體案を決定せり其の要領次の如し

▼救助の方法

(イ)救助すべき人員約千名の見込

(ロ)右千名の內大人六百名小人四百名の見込

(ハ)大人小人の區別は十三年以上を大人とし十三年未滿を小人とす

(ニ)大人に對しては一人一日に付米二合粟二合小人に對しては一人一日に付米一合粟一合とし總て現品を交付すること

(ホ)交付回數は四回とし一回の交付高は十日間分とす

(ヘ)救助すべき者は警察官憲に於て調査し救助を要する者と認めたるときは救助券を交付し所定の交付所に出頭せしむること(此の場合は相當入物を用意せしむる事)

(ト)取扱ひ時間は午前八時より午後四時迄とす

(チ)救助は大正七年八月十七日より實行すること

(リ)現品交付の場所は明治町三丁目元漢城病院跡及龍山榮町京城府出張所の二箇所とす

▲廉賣方法及場所

▲廉賣の補給は府內銀行、會社其の他篤志家の寄附を待つものとす

(イ)廉賣は一升、二升、五升の三種とす

(ロ)廉賣は所定の切符を所持したる者に限る

(ハ)切符の發賣は銀行に依賴し其の箇所に於て發賣すること

(ニ)廉賣は十箇所とし一箇所に付最手三人夫二人を置くこと最手は一人一日一圓にて傭ひ上げ其の傭ひ上げ方は會議所に於て米穀商組合に交渉すること人夫は一人一日七十錢にて府に於て傭ひ入ること

(ホ)廉賣所に一人宛の監督員を置き一人一日二圓以內にて傭ひ入ること

▲廉賣は小賣一升に付約十錢下げとす

▲廉賣に要する米は差當り某會社より提供せられむとする千八百石を以て之に充つ

▲廉賣に要する事務費等の豫算へ米粟最手給九百圓一人一日一圓延九百人分へ監督員給六百圓一人一日二圓延三百人分へ人夫費四百二十圓一人一日七十錢延六百人分へ銀行員謝禮三百圓へ設備費三百圓へ救助券廉賣切符印刷其他雜費三百圓計金二千八百二十圓

▲此の外米賣減り一石に付二升三千六百石と見積七十二石一石四十圓として金二千八百八十圓の損失▲又十錢安とし其の補給額三萬六千圓を要す以上廉賣に要する總經費四萬千七百圓とす

▲以下の外は更に評議員會を開き決定すること

◎裡里の廉賣

裡里にて同地今非氏米廉賣資金として金五百圓を提供せり詳報通信す(裡里特電)

◇各地の白米

▲群山 十五日小賣値段(電報) 一等白米小賣一升三十九錢十四日に比し一錢安正米冊一圓二三十錢乃至七八十錢の下落なり

▲大邱 十四日より一等白米一升三十五錢に低落せるが當分上記値段持續の見込なり

▲釜山 一等白米標準値段一升三十八錢氣配弱し市場正米二十九圓

▲安東 白米小賣相場は十四日より暴落し十五日一等白米一升四十錢二等三十九錢五厘に下落し尙引續き下落の見込なり

▲大連 十四日一等白米一升五十四錢に騰り尙品薄の爲め小賣商人は一戶に付き一俵を最大限度とし多くは二斗以上を賣らぬ事とせり

★李花の譽れ(一)

李王世子殿下御精勵の事共

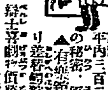
李王世子垠殿下、酷熱石を焼かす時、刻苦精勵軍務にいそしみ給ふ。則ち側近の士に就いて畏さに御近狀を承はる(東京支局)

▲中隊觀念がお强い

★心服の外なし＝藤田中佐謹話

近衞步兵第二聯隊附中佐前の朝鮮總督寺內元帥副官たりし藤田鴻輔氏は謹で語る

『李王世子殿下の御事に就ては只々心服の外はない。現下の御勤務振に就て申し上ぐれば我が正しき軍律の下に、聊かの御忘慢の事とてはなく、日常御學習の事を…射行御勤務あらせらるゝのである。週番勤務なども普通の中隊付將校として御務めになり。草を…の行軍さへも快く御遂げになる、其有樣いとも畏い次第である、此度の下志津の演習にも殿下は二週間の勤務を無事に終はられ七月の半ば五時未だほの暗い曉の狹霧の裡に隊伍を整へて、勇ましく響き渡る喇叭の音と共に歸營の途に就かれたのである、下志津より東京まで其間實に十二里、健脚を誇る兵士でさへも連日連夜の奮鬪に坐ゝ疲勞の色見ゆるに、殿下には少しもさる御氣色もなく、一隊と共に元氣よく御歸營遊ばされた御熱心なる御勤務につれし小隊の指揮等の事も御進步の跡甚だ著るしいものがある。そして御兵營の中隊が何れかに良好なる成績を顯はした時などは御自身の御成功のやうに非常な御喜びで實に所謂中隊觀念に厚く在られる事は確ならぬものである。また凡て軍事研究に御熱心なことは何人といへ共敬嘆せざるはないのである、將來を期せられては、兵學、語學の教師を聘せられて御勉强あらせらる、其兵學御指導の任に當つてゐた、參謀本部の加納中佐の語る所によれば、假へ些細なる問題に就ても決して疎かに遊ばさるゝ事なく、熱心に御研究あらせらるゝさうで是によつても殿下の如何許り將來の將帥としての學に御心を用ひさせ給へるかを知るに足るであらう



▲黄金館 十六日より差替の新寫眞は桑の平內三百二十號…の秘密、原池心中等

▲有樂館 十六日より差替寫眞、馬賊の後、拜金狂、辯士喜劇…人民等

▲大正館 十六日より特別興行として映畫全部差替へ觀覽に供する筈なるが主なる映畫は實寫ニュースの一日▲新派悲劇新夜の月全四卷▲連續大活劇『秘密の王國』三、四編四卷▲舊劇幕末京話淸雪草紙全三卷等にして『秘密の王國』は益々佳境に入る筈

▲俳句…
▲謎『米相場とかけて』 十七日 十八日
▲一口噺『時事』 十八日 十九日
▲下句付『如何しても』 十九日 二十日
▲俗謡 二十日 廿一日
▲川柳『錢』 廿一日 廿二日
▲發表後一週間以內に到着又は同案發見通告者には五十錢書籍券を呈す但何書何號と明記に限る▲宛名は京城日報社編輯局讀者文藝係

今年の夏は日焼せぬ

日本に初めて出來た

美乳の賜！

ますく色が白くなる！

日焼せぬ理由

近頃新現象が婦人界に見られつゝあります それは實驗こいふ事ほど夫ほど動かすことの出來ない價値を其使用品に對して定むるものはないこいふ眞理から出發するのであります。即ち海水浴の前に一滴後に一滴日本に初めて出來た美乳を使用する習慣がついた結果今年の夏は海水浴に行つても日焼せぬことが知られましたため如何なる階級如何なる御年齡の御婦人でも今は美乳を塗けないこ時代遲れの如く云はるゝやうになりました實驗上の結果ですから之は何人も肯定する所――それでは何故美乳を常用すれば日焼せぬ乎こ申しますこ美乳の眞價は一に此點に集注されてありますので博士の合議發明に係る秘劑の力は克く皮膚の根本組織から白く美しくする成分作用を有し從つて外間からの色を黑くする力太陽の紫外線なごは苦もなく擊退さるゝからであります。

色白くなる譯

此點は最も大切なところですから今少し委しく申しますれば從來有觸れた化粧液こ稱するものはすべて表面を一時白くする位に過ぎませんでしたが美乳は絕對に其等こ根本成分を異にし白粉にあらず化粧水にあらず又單なるクリームにもあらず一滴を塗けますれば直ちに皮膚の內部組織に最も完全に染み込み最も完全に之を白く美しくする作用がありますから如何に性來の色黑こ云はるゝ方でも美乳常用に依つて生れ變つたやうな白色美人こなる事の出來る道理であります日焼せぬ理由も生地から色白くなる薬も右の樣な次第で此上はたゞ實驗を遊ばした上成程日本に初めて出來た秘劑だけあるこ御感知を願ふ外はありませんそれから特に若夫人令孃向こして姉妹美白料純白美乳がありますが美乳を常用しますこ殊に皮膚を整へられた上純白美乳を一滴お塗けになりますこ貴女のお化粧は一層水際立ちませう

僅か一瓶で美人となる
試驗はタツタ一週間！

本舖 大學白粉本店 矢野芳香園

妻の心　六十七

十の七　小林蹴月作　武内桂舟畫

何様、世間普通の理屈から考へれば、種子が若龍に對つて、良人の妾になつて呉れと頼むのも變であるし、若龍が又、江戸ッ兒氣性を出して、それを承引ると云ふのも妙である。

けれども、其處には其處の事情が存する事で――種子はどうせ自分が良人から嫌はれぬいて居る身體でもあり、長い年月の病氣でもあるから、惑干氣ばかり焦つた所で、満足に家庭内の一切を取賄ふ能力がないものと斷念めて居るのである。つまり、自分で自分が一家の妻たるべき資格のない事を承知して居るのである。だから、自分はほんの表面丈の本妻として……代議士町川久三郎の本妻として默つて無事に過ごす事さへ出來たら、假令藝妓であらうが、遊女であらうが、良人の氣に適つた女を内へ入れさせ、什うかして現在のやうな良人の不仕鱈を止めさせたいと云ふのが、彼女の心底からの希望であるし、第二には又、彼の順吉郎に對する良人の意氣張も承知して居るので、無理がらにでも、良人の意地を通させ、男の面目を拭はせたいと思ふ心も、細ら間なくその腦裡に附纏つて居たのである。勿論、若龍の淡白とした男らしい江戸前の氣質が、一度ならず二度目の今日に及んで種子には愈々深く呑み込めたからの事ではあるが、兎にも角にも、種子は、此の若龍ならば、後日になつても、自分を殘酷に扱ふやうな浮氣非道の女でもなければ、良人を唆かして、勝手を働くやうな世上の所謂妾根性の女でない事丈は、自分自ら大いに安心して掛つたのである――要するに、良人を大切と思ふ一念が、凝じて、彼アも考へ斯うも思ひ直した結果と見做せば、間違ひないのである。

乃で、若龍としても、斯程まで種子から見込まれて見ると、色や慾の望みは扨て措き、只無性に種子の境遇が氣の毒さに、到頭承知して了つたには違ひないのであるが、本妻の外にお芳とやら云ふ妾まである町川の爲めに、此の身の一生涯を託さうとは決して思つて居らない。どうせ赤襟の昔から節操の貞女のと云ふ物堅い志操から遠ざかるやう〳〵と仕込まれて來た身に、今更そんな事を口先へ出すさへも氣恥かしい感じを抱く位の境遇でこそあるが、若し自分の腕一つで、種子を現在の苦痛から脱し得さする事が出來たら……と云ふ天性の侠氣と、それに伴なふ江戸ッ兒式の矜りとは、知らず〳〵彼女の良心を瞞つて、此の事を承知せしめたのである。

頼まれたら厭とは云ひ得ないと云ふ情の脆さも亦、江戸ッ兒美の本性と云ふべきであらう。彼女は心から種子の温良なる貞實なる良人思ひの赤心に動かされて、一肌脱いでやらうと覺悟したのである。斷じて代議士の肩書や、何々會社の監査役や、ダイヤ入りの指環や美しい流行の着物に目が眩んでの承知でない事は明かである。

『奥様、その御念には及びませんで御座います。先達て初めてお目に罹りました時、二度と再び町川さんのお座敷へは顔も出しませんと、堅いお誓ひを致しましたのも、心底貴人をお氣の毒なと存じましたからのことで御座いますが、今日又々そのお誓ひを反古に致して貴女の大切な旦那様のお召使ひにならうとお引受致しますのも、詰まりは貴女が只今の御苦痛から、幾分たりともお脱れになるやう取計らつて差上げたい一念からで御座います。何卒長い目で御覧遊ばして下さい』と、若龍は、確かに何事かの成算が付いたらしい挨拶であつた。種子は、何にも云はずに只兩手を合した。

廊下へ避けたお俊は、もう話の濟んだ時分と思つたのであらう、そろりと扉を開けて會釋ながらに入つて來たが、丁度此時、病院の小使らしい詰め襟の男が、赤い綺麗な草花の鉢植をゆさ〳〵と抱へて來つて、種子の枕頭に差置き、『只今、奥様への御見舞品だと申して、招魂社傍の園藝商會から是を届けて參りましたが……』と、一通の手紙を差出す。お俊は、それを受け取つて狀袋の裏を打返して見ると、細い假名書で……風間芳子！

京城の名物（京城南大門通三）カフエータイガーの洋食とアイスクリーム

夏の洗濯物

木綿物と敷布

◇乾いたら直取込め　白くするには青粉

夏は洗濯物の多い時です。殊に白い物が多くそして大概は汗のついたものです、この白い物の洗濯の注意としては汚れたものを永く置かぬこと、他の色つきの洗濯物と一緒に洗はぬことです。先づ

◆◆木綿 なれば曹達水に三十分間位つけて石鹸で洗ひ濯ぎてよくすることが大切です。それから石鹸で洗ひ上げたのを他の洗ひ物のすむ迄清水につけて置くことを忘れてはいけません尚同水は腐けるにつけて洗ふのもよいのです、次は上等の白布を洗ふには濯ぎ水にアンモニヤ液少量を入れると効がありますこの方法はハンカチ等に應用するとよいやうです又若しも

◆◆敷布 その他夏用の色々の斑ひの白布など眞白くする必要のあるものは青粉を（薬種店にあり）少し終りの濯水に入れて濯ぎ上げれば眞白になります、次に白布の洗濯には糊付が必要です、糊は木綿物なれば生麩、米糊等が普通です、絹物の白布なれば麩糊アムローゼ、ゼラチンをつけますそして洗濯物は半乾きにアイロン又は火熨しをかけるか浴衣などは露をふきて疊付けます、それから夏の洗濯物の一つの注意は夏の

◆◆光線 は直射しますから色の着いたものは成る可く日蔭干がよく又片面物等は裏返して乾す方が褪色する心配がありません、それから洗濯物を女中任せにする家などでは朝早く乾た物を夕日の入る迄竿に乾しばなしにすることがありますが著色物は勿論白い物でも永く日に當てると地質を傷め又幾分白色に赤味をつけますから直取込むやう注意しなくてはなりません、次にどんな物でも初めての洗濯はごく

◆◆丁寧 にしないと白い物などは最初に飽まで白く洗ひ上げぬと後では決して眞白くなりません。そして新しいものは汚れぬ間に洗濯することが大切です又色の附いたものの初めての洗濯に色留めに明礬とか酢を入れますがこれは紺などの極色の出るものには少量用ゐれば効はありますが澤山用ふると洗濯劑の効用を無くして汚れが落ちません、それ故著色物の洗濯の安全は成る可く弱き洗濯劑を使ひ温度の低いものつまり

◆◆熱湯 も全然去けますそして洗濯時間を短くすること永く浸さぬこと及び洗濯後水を早く吸はらすこと等に注意すればそんなに褪色しません

◆◆洗濯と藥品

序に絹白物の洗濯は湯二升に過酸化ソーダ中匙半分を溶して入れその中に白絹物を十五分間浸して後洗ひ板の上に出して柔かなブラシ又は楊子にて洗濯水をつけ洗ひ後水につけて更に別に硫酸を少量入れた水の中にて一度濯ぎ次に清水にて數回濯ぎ終りに青味（ベレンス）をつけ生絞りで日蔭干しにします此の方法によれば白絹は完全に洗濯が出來ますが藥品を使ふのでよほど注意と練習が要ります

その他簡單にするには洗滌劑に蜂蜜石鹸の三種を混ぜたものか或ひはフスマの水で洗ひます又若色絹の場合には濯ぎ水に醋酸を少量入れます

日報歌壇

□吐息□　小泉倫　旅野源太郎

しきつめし石のあひまに青々とのびたる草を見つゝ居りけり

うちにだす心のうちに火ともゆる思ひ秘めしと人は知らずも

すべてのなきことと思ひつもろ手もて溶ちくろ涙ぬぐひたるなれ

おそらくはいつしか知ろゝ心ぞさと泣いて告げしを忘れたりけむ

くちびるをかみてはあれどほろほろと落つる男の涙なりけり

つきよみの光にそつとさしのべし手の冷さに見入りけるかも

われさわぎ身はもいとしといぬる夜はたれの吐息もなつかしきかな

らま等の庭にむら咲く岩牡丹そのさりぢりの花の色かな

□土用吟（其の一夜）

汗

草を歩みて快き汗を拭ふかな　青光雨

そゞろ歩きに汗ばむ夜や兵通る　同

汗著脱いで夕べ親しむ鉢木かな　闘川子

ハンカチ洗ふ水冷さ汗乾く　水子

汗人形啼き立てぬ南瓜畑　紫光

汗の顔を浸せる樹下の幣かな　橙黄子

晝顔

松太く晝顔に作る日陰かな　田打夫

晝顔や草原いつか墓地となり　同

晝顔や土に返へれる古瓦　迦南

晝顔や遠く温泉地獄鳴り　北星

晝顔や干魚に飛ぶ蒼蠅　橙黄子

讀者の領分

▲貴社で米價低落に奮闘さるゝは誠に感謝に堪へず此際を以て低落の徴見ゆ尚一歩を進めて下さい さも奸商の全滅な られん事を希望す（一紳士）▲此際一般に米の代用に麩、小豆、大豆、其他雜穀を大いに食せん事を御勸めす私宅は月六斗の米が今は一箇月一斗五升に減じて居ります此の率にて行かば米を食し價格を低下さするは火を見るが如し諸君須らく賛成服從すべし（一紳士）▲貴社米價暴騰に對する種々の記事にて本日より小賣の値段も下落致し一般に喜悦致し居候然るに米穀商は上騰の折合よりも相下落の時に於て多大の利益を獲得するものに有之候其れば買入に於て下落を見越し安價に購入しつゝあるに何卒貴紙に御注意被下度候（勝讀者の一人）▲白米商組合の白米廉賣は少しケチではないか、安藤氏は一人で百石出すといふて居るでは無いか、千石程セメテ五百石は奮發せねば組合の面目にかゝはるよ小賣商は此位にして此際ウンと儲けた各穀物商は此際大に出すべしだ子（公民生）▲京城白米三十九錢なる値下の廣告を見て『お母さん内のお米は三十七錢ですね』と『また一〃得が行きます』と『それでは早く食べねと又下りますよ』（河崎つる）

新刊紹介（到着順）

▲木太刀（二六ノ八）　十八錢東京牛込築地町一二其社

▲國民道徳（一〇八）十三錢東京芝琴平町三國民道德會

▲斐（一ノ六）　十八大阪東區今橋五ノ一四國西園寺會

▲奉天商業會議所月報（六十八）　二十錢滿洲奉天小西關奉天商業會議所

▲ジャパンタイムス學生號（二四）　東京麹町區内幸町一の四同出版社

▲ローマ字（八月號）　十二錢東京麹町區有樂町一の三同ひろめ會

▲我が家（八月號）　五錢東京麹町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會本部

▲自由評論（八月號）　二十錢東京赤坂田町一の七三其社

▲刀の研究（四の七）　二十五錢東京下谷茅町二の三南人社

▲婦人週報（四の二九）　五錢東京牛込市ヶ谷田町二の一七其社

▲京城藥報（五四）　一ケ年一圓京城旭町二の六〇其社

▲住宅（三の八）　十錢東京芝琴平町一住宅改良會

▲日本養蜂雜誌（八月號）　八錢名古屋市東區長塀町三の五其社

▲せいてう（非賣品）　京城本町四の一二青鳥社

□梶の葉　青瓦

銀釣灯江上に散れる七夕に

花火瓜月出づる風に非水浴ぶ

夏の月果樹の蟲焼く人の居り

△　瓜青

庭掃くや七夕明けし鳥啼く

七夕笹焼けし夜花摘り異るゝ

夏の月白蓮咲き來しに離戸開く

○トーピー（魚卍形）萬年筆本舗たる愛國製作所は今回事業擴張のため合資會社組織に變更し其の記念として正十四金ペン先附精巧優美なる同型の萬年筆（特價一圓五十錢）を賣出したる處頗る好評ありと

◎臺米移入計畫

政府は米價調節策として外米鮮米の移入を斷行せるが此際更に臺灣米の移入を……指定商は其内命を受け買付を爲つゝある模様なり、因に臺灣米本年度一期作は其收穫前年に比し約四十萬石の……上、下期移入率に見るに下期移入……き今後移入能力年年とするも尚ほ六十萬石の餘力を存すべく之れを……

◎船鐵交換協議

船鐵交換同盟會の近藤（浦賀）内田（内田）川崎（西田）石川島湯川（三……）……二項に就き協議を爲せり（一）第二次交換によりて得たる材料を以て第三次交換を爲すや否や（二）七月、九日米國より申込ありたる造船工事に關する件　更に協議を爲すこと・し五時散會せり（東京）

◎急行列車延著

……十五

◎双眼鏡◎

◎十五形六枚玉十二圓

◎十三形六枚玉十一圓

送料鮮内十二錢　外三十錢

右謹少付至急御下命願上候

京城太平通電話壹番内一八番

京城日報社代理部

▲廣告▼

李王職御用　模範牛乳

ニウソ　石鹸　洗粉

京城蓬萊町四丁目　東亞牧場　電話五三二番

資本金壹千萬圓　頭取　安田善三郎

京城本町壹丁目

株式會社百三十銀行京城支店

電話局五八番・一九四番　振替貯金京城一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候

爲換取組先は内地各方面竝朝鮮樞要の地に有

吹きパイン萬年筆

商品を聴するにこの誇張を要すかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべき一切の効能と特徴とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし

萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし

最新式　六圓八十錢

漢出式　四圓九十錢

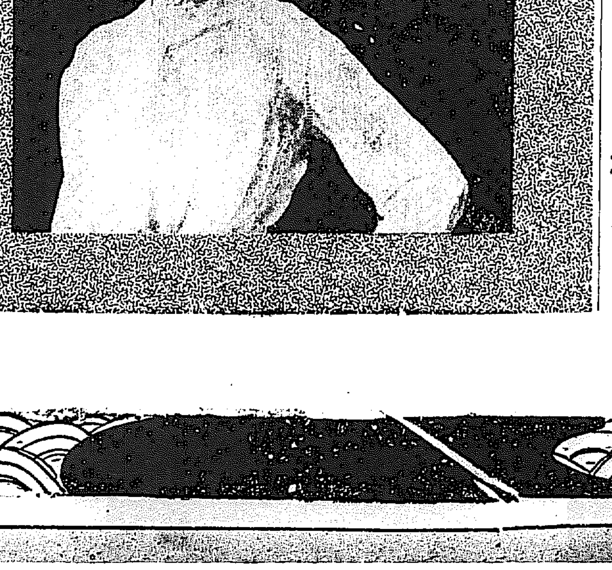
装飾付　三圓八十錢

學生用　二圓八十錢

ビジネス用　一圓九十五錢

發賣元　京城日報代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

桃谷研究試驗所創製

美顔白粉

美顔化粧料各種は、各宮家御用、美容術大家マリー・ルウ井ズ孃御試驗の上常に尊き御方々の御間にも召されつゝある名譽の御化粧料にして、今や一ケ年製産高貳百六拾萬圓を超ゆるの盛況に達せり